

消防年報第66号

2016

Ichinomiya City Fire Department Annual Report

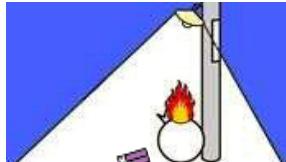
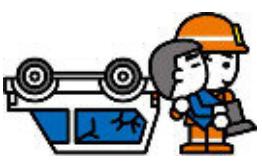


一宮市消防本部

一 目 統 計

			
面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.82Km ²	一般会計予算 111,300,000千円	消防本部 1	条例定数 395人
人口 386,094人	消防予算 3,934,001千円	消防署 3	
世帯数 154,692世帯	平成28年度予算	分署 1	現員数 389人
平成28年4月1日現在		出張所 9	平成28年4月1日現在

		
消防団員	消 防 車両	1 1 9 番受信
条例定数 598人	タンク車 18台 救助工作車 2台 火災 232件	
現員数 516人	ポンプ車 1台 化学車 2台 救急 14,996件	
平成28年4月1日現在	救急車 14台 その他 28台 その他 6,530件	
	はしご車 2台 合 計 67台 合 計 21,758件	平成27年中
		平成28年4月1日現在

			
火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 48件	1位 たき火 10件 出動件数 190件 出動件数 16,167件		
車 両 5件	1位 放火 10件 活動件数 97件 搬送人員 15,257人		
その他の 30件	3位 たばこ 9件 救助人員 86人		
合 計 83件	平成27年中	平成27年中	平成27年中
平成27年中			

			
音 楽 隊	査 察 対 象 物	危 険 物 施 設	消 防 ク ラ ブ 会 員
隊員数 38人	特定対象物 1,843か所	製造所 3か所 幼年 10,543人	
演奏回数 34回	非特定対象物 2,561か所	貯蔵所 277か所 少年 7,389人	
平成27年度中	平成28年4月1日現在	取扱所 164か所 婦人 390人	平成28年4月1日現在

一宮市民憲章

平成 19 年 3 月 28 日制定

わたしたちのまち一宮市は、木曽の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、

だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。

1. **ち**きゅうを愛し、

自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。

1. **の**びやかに青少年が育ち、

個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。

1. **み**どり豊かなふるさとを守り、

活力ある産業のまちをつくります。

1. **や**さしさと思いやりに満ち、

夢と希望があふれるまちをつくります。

はじめに

本市消防は、関係機関の皆様の暖かいご支援とご協力により着実に発展を遂げ、地域に密着した防災機関として、市民の皆様からも多大なる信頼と期待を受け、時代とともに変貌する各種災害に対し、的確に対応できる消防体制の充実強化に努めてまいりました。

しかしながら、平成 28 年熊本地震をはじめ、突発的に起きる自然災害、都市化に伴い複雑化していく災害、また、放射性物質の流出など多様な事案が発生している中、単一の自治体での対応の枠を超えて、複数の自治体同士の相互応援による対応が求められてきています。

また、人為的に発生する事故、国際的なテロリズムによる災害の発生が危惧される中、市民の生命・財産を守る消防の役割はますます重要となり、消防体制のさらなる充実強化が必要となっております。

このような環境下において、本市消防といたしましても消防体制のさらなる充実強化を目指し、新市の基本理念である「安心・元気・協働」のもとに、心ぶれあう、安全、安心なまちづくりに努力する所存であります。

本書は、平成 28 年 4 月 1 日現在における消防体制及び平成 27 年中の火災等の実態を取りまとめて収録したものです。

ご高覧を賜り、本市消防行政の一層の飛躍に向け、皆様のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いに存じます。

平成 28 年 7 月

一宮市消防本部

○平成28年度 全国統一防火標語

消しましょう その火その時 その場所で



○平成26・27年度 一宮市防火標語

消えたかな ぼくらみんなが 消ぼうし



○一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

**あっ！！火事だ！！
「にげろ」のめざまし じゅうけいき**



目 次

I 総 括

市 の 概 要	1
一 宮 市 の 人 口 ・ 世 帯 数	2
消 防 機 関 の 配 置	3
消 防 の あ ゆ み	4
消 防 の 主 な 行 事	6
消 防 情 勢 の 推 移	8
消 防 本 部 ・ 消 防 署 の 組 織	10
消 防 本 部 ・ 消 防 署 の 事 務 分 掌	11
消 防 団 の 組 織	12
消 防 本 部 ・ 消 防 署 の 庁 舎 現 況	13
消 防 团 の 庁 舎 現 況	14
消 防 本 部 ・ 消 防 署 車 両 の 現 勢	16
消 防 团 車 両 の 現 勢	19
消 防 音 楽 隊 の あ ゆ み	20
消 防 音 楽 隊 の 編 成	23
消 防 音 楽 隊 の 活 動 状 況	23

II 総 務

当 初 予 算 の 推 移	24
決 算 額 と 構 成 の 推 移	24
消 防 職 員 の 配 置	25
消 防 職 員 の 年 齢	27
消 防 職 員 の 勤 続 年 数	27
消 防 職 員 資 格 等 保 有 状 況	28
消 防 職 員 教 育 研 修 状 況	29
災 害 防 止	30
安 全 管 理	30
消 防 協 力 者 表 彰	30
施 設 ・ 装 備 充 実 事 業	31

III 通 信 ・ 気 象

指 令 シ ス テ ム 構 成 図	32
無 線 設 備	33
指 令 回 線 等 一 覧 表	34

月別 119番受信状況	35
携帯電話からの月別119番受信状況	36
月別気象状況	37
一宮市の警報・注意報発表基準	37

IV 消防団

消防団の現況	38
消防団及び消防団員の状況	38
消防団の活動状況	38
年報酬額	39
費用弁償	39
消防団員の退職状況	39
消防団員の新任状況	39
消防団員の職業構成と就業形態	30
消防団員の年齢	40
消防団員の勤続年数	41

V 予防

火災予防普及活動状況	42
幼年・少年・婦人消防クラブの現況	42
街頭消火器設置状況	43
街頭消火器火災使用状況	44
査察対象物数	45
中高層建築物数	46
各種届出件数	47
用途別同意建築物数	48
危険物施設数	49
指定数量の倍数・類別危険物施設数	50
危険物施設の設置・変更許可等	51
タンク検査状況	51
危険物施設届出等状況	51

VI 火災

火災の概況	52
出火原因	53
建物用途別・原因別件数	54
連区・月別の火災件数	55
過去10年間の火災発生件数	57

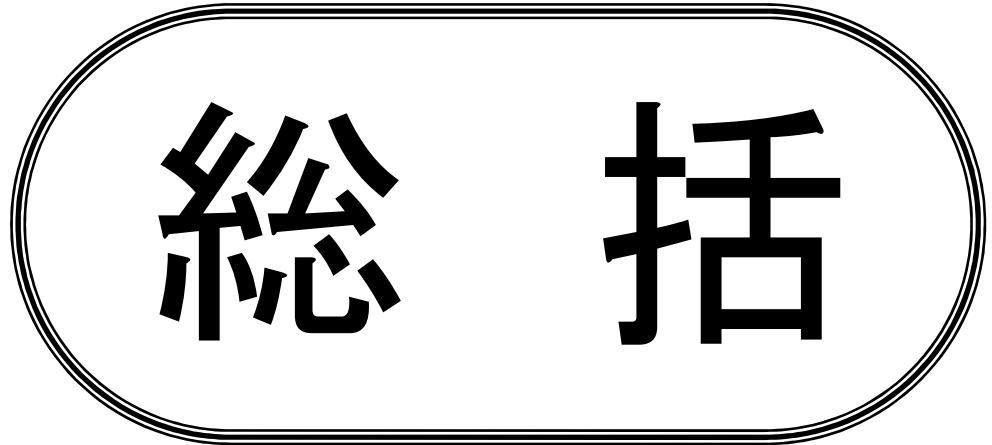
VII 警 防

消防車両の配置状況	58
高速道路の火災	59
災害種別の出動状況	60
消防活動用資機材の配置	61
月別序外業務活動状況	63
消防水利の現況	64
応援協力計画	65
緊急消防援助隊の概要	66
緊急消防援助隊の派遣について	66

VIII 救 急・救 助

過去10年間の救急活動状況	68
曜日・月別救急出動件数	69
曜日・月別救急搬送人員	70
地区別救急出動件数	71
地区別救急搬送人員	71
現場到着所要時間別救急出動件数	72
収容所要時間別救急搬送人員	72
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員	73
救急高度化の推移	74
救急隊員の行った応急処置等件数	75
高速道路の救急活動状況	77
応急手当等の普及活動状況	78
救助活動状況	79
月別救助出動状況	80
過去5年間の救助活動状況	80
救助訓練等実施状況	81





市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

大正10年9月1日に市制を施行、昭和15年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和30年1月に丹陽村と浅井町、4月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成17年4月に尾西市、木曽川町と合併し現在の113.82 km²の都市が実現しました。

平成28年4月1日現在、人口386,094人、世帯数154,692世帯となり、市北部から西部へと約18キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛知県



一宮市



■位 置：北緯35度18分、東経136度48分

■Location : Lat. 35° 18' N & Long. 136° 48' E

■面 積：113.82 km²

■Area : 113.82 km²

東西15.3km、南北13.3km

East-West : 15.3 km, North-South : 13.3 km

■人 口：386,094人

■Population : 386,094 people ;

男189,102人 女196,992人

Male: 189,102 people, Female: 196,992 people

■世 带 数：154,692世帯

■Number of households : 154,692 households

■人口密度：3,392人/km²

■Population density : 3,392 people/km²

(平成28年4月1日現在)

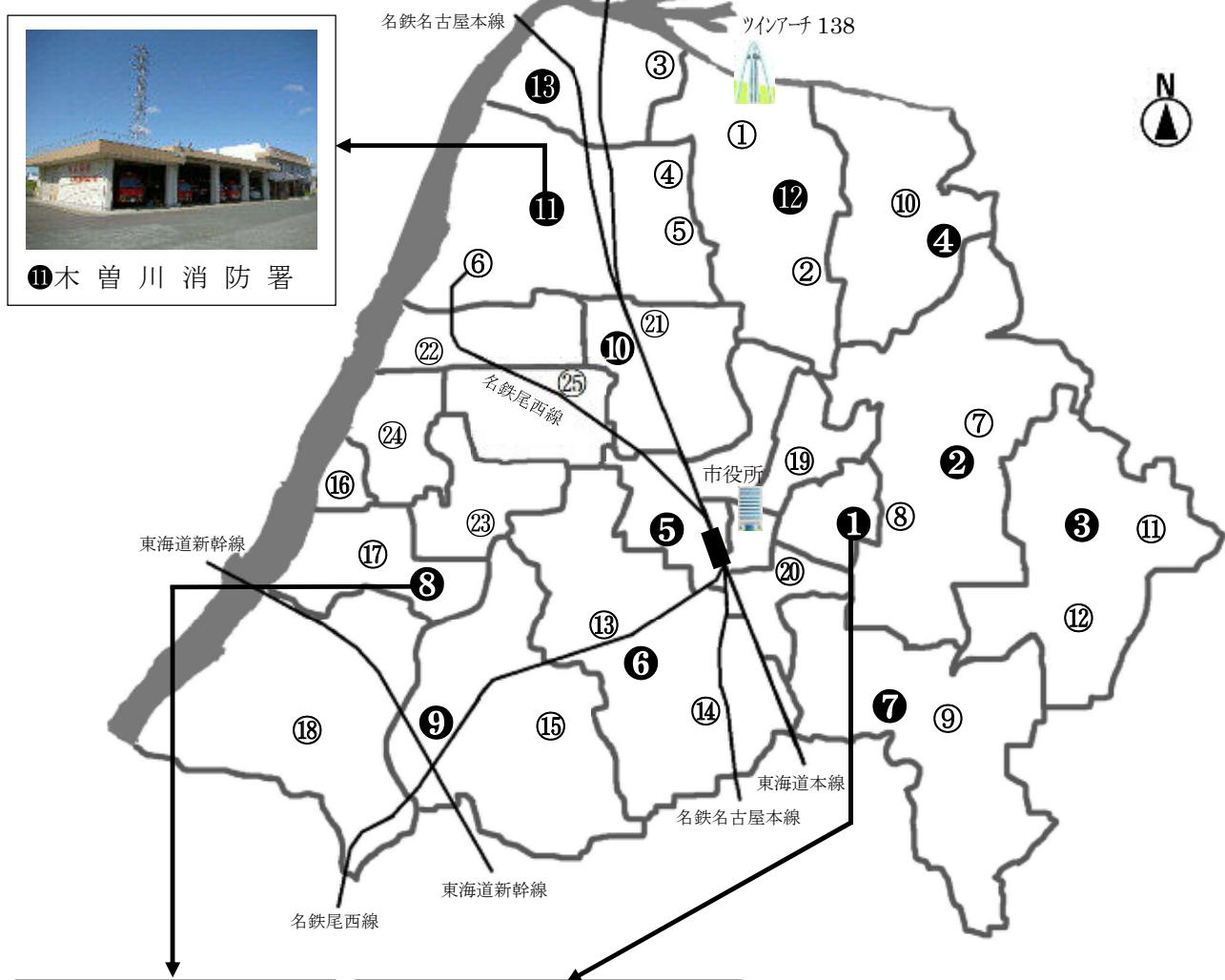
(As of April 1. 2016)

一宮市の人口・世帯数

平成28年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	154,692	386,094	189,102	196,992
宮 西	4,752	11,325	5,445	5,880
貴 船	5,040	12,022	5,802	6,220
神 山	6,977	15,723	7,665	8,058
大 志	2,253	5,106	2,426	2,680
向 山	3,900	9,169	4,499	4,670
富 士	4,165	9,578	4,660	4,918
葉 粟	6,449	17,106	8,396	8,710
西 成	13,750	34,994	17,194	17,800
丹 陽 町	11,625	28,264	14,293	13,971
浅 井 町	8,004	20,384	9,936	10,448
北 方 町	3,750	9,945	4,872	5,073
大 和 町	17,510	42,304	20,752	21,552
今 伊 勢 町	10,848	26,383	12,961	13,422
奥 町	5,406	14,205	6,867	7,338
萩 原 町	7,385	18,899	9,130	9,769
千 秋 町	6,519	17,461	8,563	8,898
起	1,367	3,385	1,625	1,760
小 信 中 島	4,137	10,937	5,347	5,590
三 条	5,252	13,120	6,324	6,796
大 德	4,016	10,431	5,126	5,305
朝 日	4,914	12,898	6,320	6,578
開 明	3,293	8,357	4,111	4,246
木 曾 川 町	13,380	34,098	16,788	17,310

消防機関の配置



⑪木曾川消防署



①消防本部・一宮消防署本署

※詳しくはこちらをご覧ください

一宮市公式ウェブサイト内
地図情報サイト「138 マップ」

<http://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya/>

【施設・地域情報】



【消防施設】

消防本部・消防署・出張所			
① 消防本部 一宮消防署本署	⑦ 丹陽消防出張所 消防訓練施設		
② 西成消防出張所	⑧ 尾西消防署		
③ 千秋消防出張所	⑨ 萩原消防出張所		
④ 浅井消防出張所	⑩ 今伊勢・奥消防出張所		
⑤ 八幡消防分署	⑪ 木曾川消防署		
⑥ 大和消防出張所	⑫ 葉栗消防出張所		
⑬ 北方消防出張所			

分団庁舎			
北部 方面隊	東部 方面隊	南部 方面隊	西部 方面隊
①葉栗北	⑦西成北	⑬大和西	⑯真清北
②葉栗南	⑧西成南	⑭大和東	⑰真清南
③北方	⑨丹陽	⑮萩原	㉑今伊勢
④木曾川北	⑩浅井	⑯起	㉒奥
⑤木曾川西	⑪千秋北	⑰大徳	㉓三条
⑥木曾川東	⑫千秋南	⑱朝日	㉔小信中島
			㉕開明

消防のあゆみ

(一) : 旧一宮市消防本部

(尾) : 旧尾西市消防本部

(木) : 旧木曽川町消防本部

昭和23年 3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年 3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年 1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年 4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年 9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年 4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年 9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年 9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年 4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年 9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年 3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年 9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年 6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年 4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年 4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年 2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年 5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曽川署)
昭和55年 1月(一)	大和出張所を大和町菊安賀地内に開所
昭和57年 1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所
昭和57年 6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年 1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年 3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年 1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始

平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急II課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリの導入
平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録
平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用
平成23年 4月	一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。 萩原消防出張所廻移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を閉所
平成28年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 消防救急デジタル無線設備整備
平成28年 4月	「一宮市・稻沢市消防指令センター」を運用開始 八幡消防分署の特別救助隊を一宮消防署本署に配置 消防署の組織に関する規程を改正、従来の一宮消防署管理グループを管理課と改称

消防の主な行事

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成27年			
月	日	行 事 名	実 施 場 所
4月	5日	一宮市消防団員任命式	消防本部
	28・29日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
5月	3～5日	リバーサイドフェスティバル	138タワーパーク
	13日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	13・14日	第1回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	20・21日	第2回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	21日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	木曽川左岸(富田字砂原地内)
	23日	貴船連区45町内会、富士連区36町内会防災訓練	天道公園
	23日	解体予定建物を利用した警察と消防救助隊との合同訓練	一宮市役所尾西庁舎 北館
	28日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練	木曽川右岸(羽島郡笠松町地内)
	31日	愛知県尾張水害予防組合水防・防災訓練	江南緑地公園(江南市)
6月	4日	危険物施設消防訓練	トーワ物産株式会社名古屋事業所
	7日	第15回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサート	一宮市民会館
	14日	浅井町連区防災訓練	浅井中小学校
	14日	今伊勢町連区防災訓練	今伊勢小学校
	17日	危険物講習会	尾西消防署
	24・25日	第3回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	28日	第11回一宮市消防団警防技術発表会	いちい信金スポーツセンター
7月	28日	消防職員委員会	消防本部
	30日	少年消防クラブ員県消防学校一日入校 (北方・今伊勢・大和東・萩原小)	愛知県消防学校
8月	5・6日	一般教養「製品火災による火災原因調査について」	消防本部
	8日	第60回愛知県消防操法大会	豊川市
	24日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(富田字砂原地内)
9月	6日	神山連区防災訓練	神山小学校
	12・13日	機械式立体駐車場を使用した救助研修	一宮市役所本庁舎及び 機械式立体駐車場
	19日	救急フェア	尾張一宮駅前ビル シビックテラス
	27日	宮西連区防災訓練	宮西小学校
	29日	三市消防本部合同水難救助訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
10月	4日	木曽川町連区防災訓練	木曽川東小学校
	7日	平成27年度緊急消防援助隊愛知県隊合同訓練	蒲郡埠頭1号野積場ほか(蒲郡市)
	10日	きて・みて・たいけん消防21	138タワーパーク
	22・23日 26～30日	飲食店火災に伴う特別査察	飲食店等20施設
	24日	貴船連区防災訓練	貴船小学校
	25日	奥町連区防災訓練	奥小学校
	25日	千秋町連区防災訓練	千秋中学校
	27日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	31日	車両構造講習会及び訓練会	東海旅客鉄道株式会社名古屋工場
	31日～ 12月10日	児童防火作品入賞作品展示	中央図書館・尾西図書館・木曽川庁舎

月	日	行 事 名	実 施 場 所
11月	1日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	4・5日	第4回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	5日	女性消防クラブ指導者科入校(萩原町連区婦人消防クラブ)	愛知県消防学校
	8日	萩原町連区防災訓練	萩原小学校
	8日	北方町連区防災訓練	北方小学校
	8日	第37回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	11日	警察等合同危険物車両路上立入検査	毛受地内主要地方道岐阜稻沢線
	12日	尾張西北部地区消防合同訓練	コナミグループ一宮事業所
	13・14日	第5回緊急消防援助隊全国合同訓練	市原スポーツパーク隣接地ほか (千葉県市原市)
	15日	葉栗連区防災訓練	葉栗中学校
	15日	大和町連区防災訓練	大和南小学校
	15日	三条連区防災訓練	三条小学校
	18・19日	第1回警防技術発表会	尾西消防署
	22日	大徳連区防災訓練	尾西消防署
	25・26日	救急隊員講習会	消防本部
	25・26日	第5回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	28・29日	木曽川庁舎を使用した低所救助訓練	一宮市役所木曽川庁舎
	29日	起連区防災訓練	起小学校
12月	3日	NBC災害対応訓練	JR尾張一宮駅及び尾張一宮駅前ビル
	6日	小信中島連区防災訓練	小信中島小学校
	15日	年末特別査察	イオンモール木曽川
	16日	年末特別査察	バロー一宮西店 アピタ木曽川店 一宮ニッケコーナンプラザ
	16・17日	一般教養「知識と技術の伝承」	消防本部
	17日	年末特別査察	エディオン一宮本店 ピアゴ尾西店 ピアゴ妙興寺店 ピアゴ大和店
	18日	年末特別査察	名鉄百貨店一宮店 テラスウォーク一宮
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
平成28年			
1月	9日	一宮市消防出初式	九品地公園競技場
	18・19・21日	ドライスーツ潜水訓練及びCランク潜水隊員潜水訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	22日	文化財防火訓練	妙興寺
2月	9日	甲種防火管理再講習会	消防本部
	17・18日	第2回警防技術発表会	尾西消防署
	22日	車両構造講習会(新幹線)	東海旅客鉄道株式会社 名古屋車両所
	26・29日	春季火災予防運動に伴う特別査察	福祉施設等27施設
3月	1・2・4・7・8日	春季火災予防運動に伴う特別査察	福祉施設等27施設
	2・3日	一般教養「安全運転」	消防本部
	3日	一宮市婦人消防クラブ防火パトロール	一宮駅周辺、奥町連区、丹陽町連区
	6日	消防団員研修会	消防本部
	14・15日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
	30日	一宮市・稻沢市消防指令センター開所式	消防本部

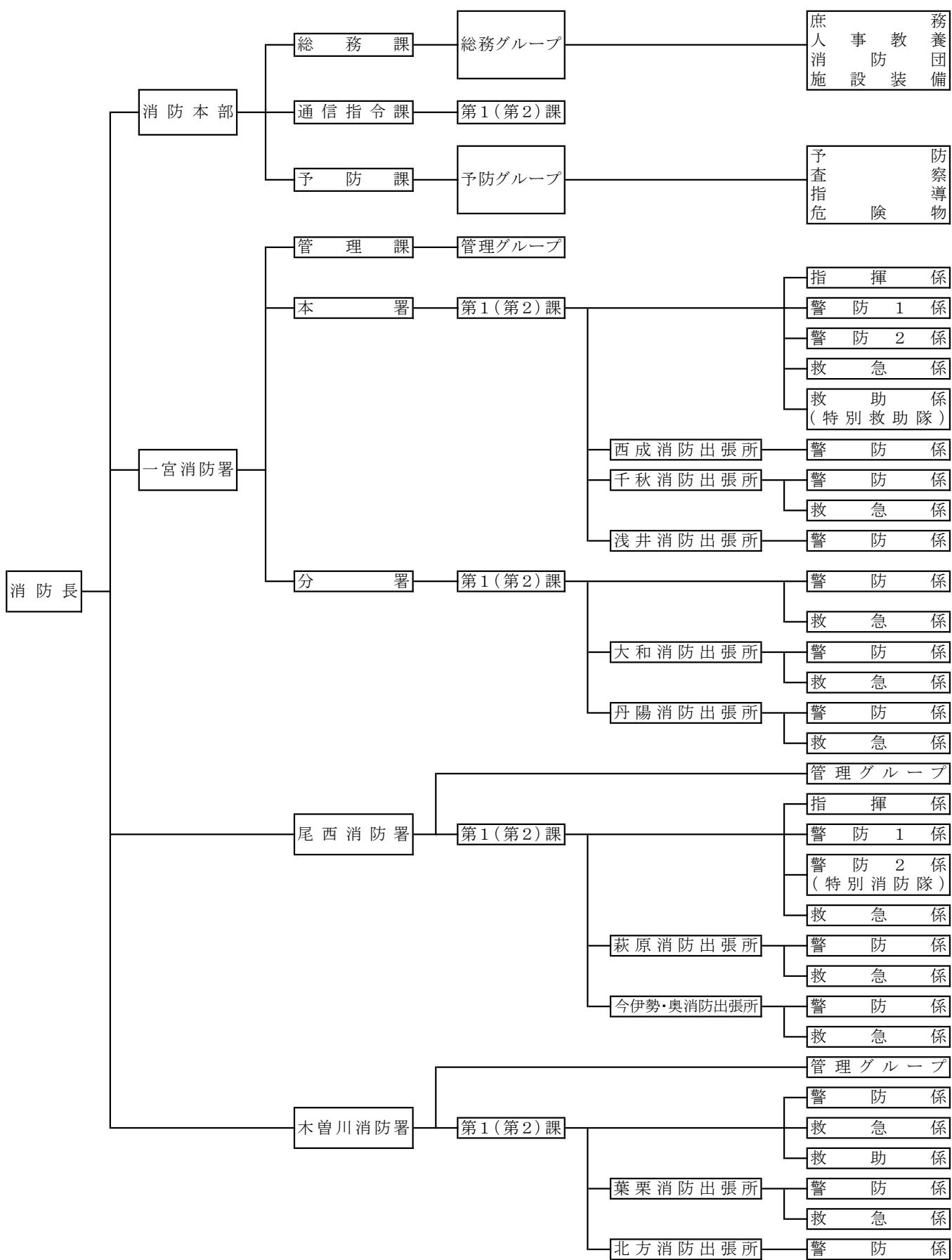
消防情勢の推移

	年別	市勢		（消 防 千 度 予 算）	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人 口	世 帯		消防 吏 員	その 他	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽
旧一宮市	平成12年	278,869	91,295	2,491,621	251	1	2,707	378	272
	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成12年	58,668	18,800	690,273	67	1	568	185	23
	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曽川町	平成12年	31,457	10,307	422,413	38	1	223	26	75
	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375
	平成28年	386,094	154,692	3,934,001	389		4,005	603	375

(備考)旧一宮市の市勢、職員、水利、消防団については、平成12年までは1月1日現在の数値、平成13年以降は4月1日現在の数値

火 災				救 急		救 助		消 防 団	
火 災 件 数	損 害 額 (千円 額)	死 者	負 傷 者	出 動 件 数	搬 送 人 員	出 動 件 数	救 助 人 員	消 防 団 数	團 員 (実 員 数)
167	362,028	1	15	7,980	8,046	156	77	1	316
171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
35	28,186	4	1	1,368	1,422	10	10	1	149
21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
13	5,786	1	1	704	705	2		1	122
20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
83	87,236	5	9	16,167	15,257	190	86	1	510
—	—	—	—	—	—	—	—	1	516

消防本部・消防署の組織

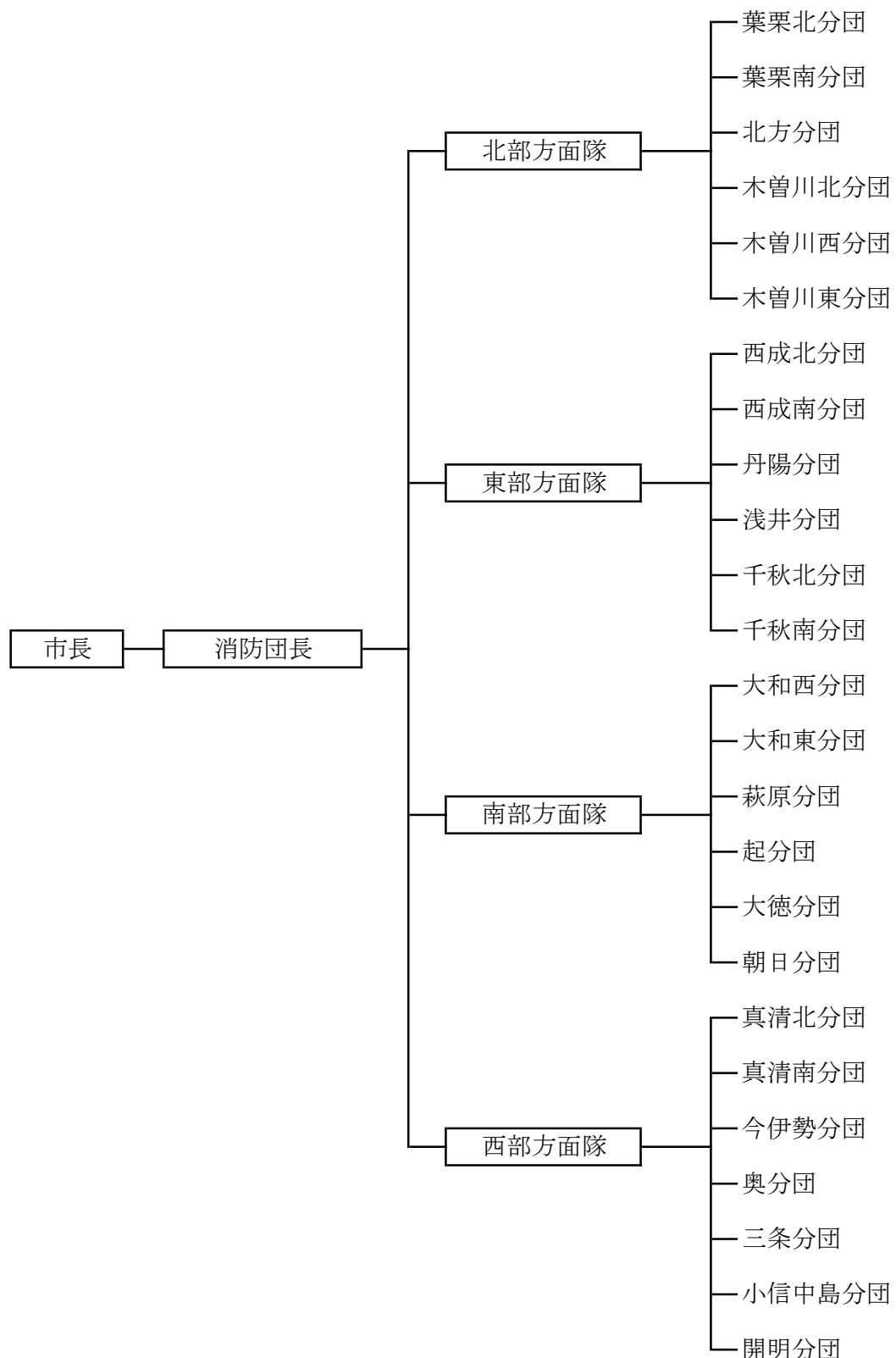


消防本部・消防署の事務分掌

消防本部	
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ○予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整 ○職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰・音楽隊、消防職員委員会、福利厚生 ○消防団、水防、儀式 ○消防計画、施設、水利、車両及び装備の整備、消防相互応援
通信指令課	<ul style="list-style-type: none"> ○災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収集及び伝達無線局の管理、無線従事者の選任及び解任、庁内情報システムの運用
予防課	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防対策の企画調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導 ○防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対象物の定期点検制度及び自主点検制度 ○建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査 ○危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理

消防署	
一宮消防署管理課	<ul style="list-style-type: none"> ○署の予算編成、所管施設及び車両の修繕、署の企画調整、災害の警戒及び防ぎよ、救急統計、署員の救急教育及び訓練、救急の普及及び応急手当指導
尾西消防署 管理グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、施設及び車両の修繕
木曽川消防署 管理グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○災害の警戒及び防ぎよ、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火災予防査察、火災の調査、自主防災会、署の庶務、火災予防条例等の届出
指揮係	<ul style="list-style-type: none"> ○救急及び救助活動並びに災害の警戒及び防ぎよ、火災予防査察、救助の統計、署の設備の管理
警防1(2)係	
救急係	
救助係	

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

平成28年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	建築年月
消 防 本 部 一宮消防署本署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建 車庫・鉄骨造折板葺	2,667.00	3,419.99	S43.3
西成消防出張所	西 大 海 道 字 郷 前 72 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	215.45	743.00	S56.12
千秋消防出張所	千秋町佐野字加村1番地1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.00	H10.11
消防署整備工場 (防災備蓄倉庫併設)	千秋町佐野字加村1番地1	鉄骨造平家建	147.51 (83.44)	上記に併設	H10.11
浅井消防出張所	浅井町小日比野字本郷36番地3	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	358.29	934.61	H9. 3
八幡消防分署	八 幡 4 丁 目 1 番 12 号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	737.54	H20.9
大和消防出張所	大和町苅安賀字上東出37番地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	356.68	1,421.67	S54.12
丹陽消防出張所	多 加 木 四 丁 目 30 番 13 号	鉄骨造 2 階 建	384.84	1,071.01	H21.3
消防訓練施設	多 加 木 四 丁 目 30 番 13 号	鉄筋コンクリート造2階建	139.60	上記に併設	S61.2
尾 西 消 防 署	西 五 城 字 中 切 浦 13 番 地 1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,580.70	H1.11
萩原消防出張所	萩原町串作字水絶15番地	鉄骨造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今伊勢・奥消防出張所	今伊勢町馬寄字東瀬古22番地1	鉄骨造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木曾川消防署	木曾川町黒田字北宿二の切247番地1	鉄筋コンクリート造2階建	1,291.67	5,135.00	S53. 3
葉栗消防出張所	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62. 3
北方消防出張所	北方町北方字西金丸60番地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.30	H3. 3

※()内の面積は外数で記載

消防団の庁舎現況

平成28年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	建築年月
北部方面隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	261.00	H5. 1
	木曽川北分団	木曽川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.24	H2. 3
	木曽川西分団	木曽川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14. 3
	木曽川東分団	木曽川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.13	H13. 3
東部方面隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6. 3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	225.00	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4. 2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.2
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	建築年月
南部方面隊	大和西分団	大和町苅安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	H3. 3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17. 3
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	H16. 3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24. 3
西部方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62. 3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58. 3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.20	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	364.00	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.12
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	補強コンクリート ブロック造平家建	126.00	237.60	S43.5
	開明分団	開明字杣西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

平成28年4月1日現在

種別 所属	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポンプ	
							級別	メーカー
消防本部・一宮消防署本署	本部指令車		一宮800さ1379	トヨタ DBA-ZRR85G	H26	1		
	本署指令車		一宮800さ302	トヨタ E-SV40	H9	18		
	本署指揮車		一宮800さ291	ニッサン CBA-MNE51	H17	10		
	本署1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800さ985	日野 SKG-XZU640M	H23	4	A2	モリタ
	本署2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は25	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	10	A2	長野ポンプ
	一宮1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は23	日野 KK-GD1JGDA改	H11	16	A2	日本ドライケミカル
	本署梯子車	40mはしご付消防自動車	一宮830つ119	日野 KC-PR4FPDF	H11	16		
	本署救助工作車	3tクレーン装備	一宮800は9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	9		
	本署救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ586	ニッサン CBF-FPWGE50改	H20	7		
	本署救急2号車	高規格救急自動車	一宮800さ721	ニッサン CBF-FPWGE50改	H21	6		
	本署広報1号車		一宮800さ164	トヨタ UA-NCP59G	H14	13		
	本署広報2号車		一宮800さ264	ニッサン TA-NT30	H13	14		
	本署広報3号車		一宮800さ170	トヨタ GF-AT211G	H12	15		
	本署広報4号車		一宮800さ154	トヨタ E-AT191G	H8	19		
	本署広報5号車		一宮800さ401	ニッサン UA-NE51	H15	12		
	本署広報6号車		一宮800さ186	ニッサン CBA-NT30	H18	9		
	本署広報7号車		一宮500さ6305	ホンダ GF-RF1	H12	15		
	本署広報8号車		一宮100さ286	トヨタ GE-RZH183K	H14	13		
	本署広報9号車		一宮500そ6867	ホンダ DBA-GB3	H22	5		
出張所	搬送2号車	幌	一宮800さ330	マツダ PB-LKS81AR	H17	10		
	搬送3号車	パワーゲート・幌	一宮800さ335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	10		
	西成	西成1号車	水槽付消防ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	4	A2	モリタ
	千秋	千秋1号車	水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	8	A2	長野ポンプ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	H12	15	A2	日本ドライケミカル
	千秋救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ973	ニッサン CBF-FPWGE50改	H23	4		
	浅井	浅井1号車	水槽付消防ポンプ自動車	三菱 KK-FL63HGX改	H15	12	A2	日本ドライケミカル

種別 所属	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年 度	経過 年 数	ポンプ		
							級 別	メ カー	
八幡消防分署	分署指令車		一宮800さ708	ニッサン DBA-NT31	H21	6			
	分署1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	3	A2	モリタ	
	分署救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	1			
	分署広報1号車		一宮480あ4001	三菱 V-U41V	H10	17			
出張所	大和	化学1号車	水 1,500ℓ 薬液 500ℓ	一宮800は20	三菱 KK-FK61HGX	H15	12	A2	日本機械
		大和救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2822	トヨタ CBF-TRH226S	H27	0		
		一宮救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ198	ニッサン TC-FPWGE50改	H16	11		
	丹陽	丹陽1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は45	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	5	A2	モリタ
		丹陽救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ419	トヨタ CBF-TRH226S	H19	8		
尾西消防署	尾西指令車		一宮800さ529	トヨタ GF-RZJ95W	H14	13			
	尾西指揮車		一宮800さ1553	トヨタ CBF-TRH226S	H27	0		平和機械	
	尾西1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800さ724	日野 BDG-XZU334M	H21	6	A2	モリタ	
	尾西2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は18	三菱 KK-FK61HEX	H15	12	A2	日本ドライケミカル	
	化学2号車	水 1,000ℓ 薬液 600ℓ	一宮800は15	三菱 KK-FK61HGX	H11	16	A1	畠山ポンプ	
	尾西梯子車	35m はしご付消防自動車	一宮800は26	日野 KC-PR4FPDF	H11	16			
	尾西高所作業車	12m	一宮800さ92	いすゞ KC-NKR66E2N	H10	17			
	尾西救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2821	トヨタ CBF-TRH226S	H27	0			
	一宮救急3号車	高規格救急自動車	一宮800さ400	ニッサン TC-FPWGE50改	H15	12			
	尾西広報1号車		一宮800さ457	ニッサン GF-QU14	H11	16			
	尾西広報2号車		一宮800さ507	トヨタ GC-KR42V	H12	15			
	尾西広報3号車		一宮480あ2345	三菱 V-U41V	H9	18			
	搬送4号車	3t クレーン装備	一宮800さ393	日野 ADG-FD7JLWA	H17	10			
出張所	萩原	萩原1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は32	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	6	A2	モリタ
		萩原2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800さ174	三菱 KK-FK61HG改	H14	13	A2	日本機械
		萩原救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2722	トヨタ CBF-TRH226S	H26	1		
	今伊勢・奥	今伊勢・奥1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は77	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	2	A2	モリタ
		今伊勢・奥2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は30	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	7	A2	長野ポンプ
	今伊勢・奥救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ252	ニッサン CBF-FPWGE50改	H24	3			

種別 所属	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポンプ	
							級別	メーカー
木曾川消防署	木曾川指揮車		一宮800さ227	トヨタ E-GX81改	H7	20		
	木曾川1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	3	A2	モリタ
	一宮2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800さ183	三菱 KK-FK61HG改	H14	13	A2	日本機械
	木曾川救助工作車	3t クレーン装備	一宮800は21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	10		
	木曾川高所作業車	12m	一宮800さ84	いすゞ KC-NKR66E2N	H10	17		
	木曾川救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ681	トヨタ CBF-TRH226S	H21	6		
	一宮救急2号車	高規格救急自動車	一宮800さ159	ニッサン TC-FPWGE50改	H18	9		
	木曾川広報1号車		一宮880あ16	ダイハツ V-S100V	H9	18		
	木曾川広報2号車		一宮800さ424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	10		
	搬送1号車		一宮800さ345	マツダ PB-LKS81AR	H17	10		
出張所	葉栗1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は10	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	9	A2	長野ポンプ
	葉栗救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ263	トヨタ CBF-TRH226S	H25	2		
	北方	北方1号車	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ PB-FSS35G3J改	H16	11	A2	日本機械

総数 67台 (消防本部・一宮消防署 35台、尾西消防署 19台、木曾川消防署 13台)

タンク車	18台(非常用2台含む)	救助工作車	2台
ポンプ車	1台	化学車	2台(非常用1台含む)
救急車	14台(非常用3台含む)	その他	28台
はしご車	2台		

消防団車両の現勢

平成28年4月1日現在

所属	種別	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポンプ 級別	ポンプ メーカー
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積載車	一宮830す119	ニッサン TC-SH4F23	H18	9	B2	トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	ポンプ車	一宮800さ100	いすゞ PB-NKR81N	H16	11	A2	モリタ
	北方分団	北方分団車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	5	A2	日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積載車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	4	B2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積載車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	4	B2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	6	A2	モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積載車	一宮830せ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	9	B2	トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	ポンプ車	一宮800さ376	日野 KK-XZU301E	H15	12	A2	モリタ
	丹陽分団	丹陽分団車	積載車	一宮800さ112	ニッサン TC-SH4F23	H16	11	B2	トーハツ
	浅井分団	浅井分団車	積載車	一宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	9	B2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積載車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	8	B2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	ポンプ車	一宮800さ416	日野 KK-XZU301E	H13	14	A2	GMいちはら
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積載車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	10	B2	トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	6	A2	小川ポンプ
	萩原分団	萩原分団車	ポンプ車	一宮800さ383	日野 KK-XZU301E	H15	12	A2	モリタ
	起分団	起分団車	積載車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	7	B2	トーハツ
	大徳分団	大徳分団車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	6	A2	小川ポンプ
	朝日分団	朝日分団車	積載車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	3	B2	トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積載車	一宮830た119	ニッサン TC-SH4F23	H19	8	B2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	ポンプ車	一宮800さ200	日野 KK-XZU301E	H14	13	A2	モリタ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積載車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	10	B2	トーハツ
	奥分団	奥分団車	ポンプ車	一宮800さ380	日野 KK-XZU301E	H15	12	A2	モリタ
	三条分団	三条分団車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	7	A2	GMいちはら
	小信中島分団	小信中島分団車	積載車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	6	B2	トーハツ
	開明分団	開明分団車	ポンプ車	一宮830ほ119	日野 TKG-XZU640M	H26	1	A2	長野ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 12台、積載車 13台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり樂器を第四尋常小学校(現在の大志小学校)へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボンを身にまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員38名が、市の行事はもちろん高齢者福祉施設や小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約40回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えるました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

- 明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
- 明治32年 宮田用水通水記念演奏
- 明治37年 一宮軍楽会と改称
- 昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
- 昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
- 昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止
- 昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成
- 昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
- 昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる
- 昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催
- 昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送
- 昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演
- 昭和46年 一宮市纖維団地完成祝典演奏
- 昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
- 昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定
一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏
愛知県消防大会で記念演奏
- 昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏
一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏
ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
- 昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
- 昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
- 昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
- 平成 元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
- 平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
- 平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加
- 平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
- 平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
- 平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当
7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
- 平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
- 平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露

- 平成10年 第20回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演
- 平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える
- 平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじぶた」を題材に子供たちの演劇を演奏
- 平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボ
レーションを披露
- 平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞう
れっしゃがやつてきた」を披露
- 平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏
と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える
- 平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏
(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える
- 平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲスト
に迎える
- 平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、
白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える
- 平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏の
コラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露
- 平成27年 第60回七夕まつりを記念して東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードにマーチングバ
ンドとして出演
第37回定期演奏会で神野三枝氏(ラジオパーソナリティー)をゲストに迎え、神野氏の多彩
なトークと音楽隊とのコラボレーションにより幅広い年代層に愛されている「映画音楽」を披露

消防音楽隊の編成

平成28年4月1日現在

隊長	消防長	後藤 保夫
副隊長		佐野 正樹
常任指揮者		鈴木 竜哉
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソфон
オーボエ	1	トランペット
E♭ クラリネット	1	ホルン
クラリネット	6	ユーフォニューム
アルトクラリネット	1	トロンボーン
バスクラリネット	1	チューバ
アルトサキソфон	2	ストリングベース
テナーサキソfon	1	ティンパニー・パーカッション
		計 38

消防音楽隊の活動状況

平成27年度中

区分	合計	内 容				練習	
		演 奏					
		部 内	市関係	その他の	計		
4月	8					8	
5月	9		5	1	6	3	
6月	10	1	6		7	3	
7月	7		4		4	3	
8月	1					1	
9月	14	1	1	7	9	5	
10月	8	1			1	7	
11月	10	2			2	8	
12月	5			2	2	3	
1月	6	1	1		2	4	
2月	3					3	
3月	9			1	1	8	
合計	90	6	17	11	34	56	

總務

当初予算の推移

(単位 千円)

科目	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般会計	104,712,000	105,215,000	105,443,000	110,450,000	111,300,000	
消防費	3,608,915	3,496,663	3,453,097	4,650,533	3,934,001	
消防費内訳	常備消防費	3,104,179	3,190,530	3,173,504	4,215,535	3,384,566
	非常備消防費	106,452	104,690	108,638	115,104	120,790
	消防施設費	388,496	191,279	161,313	310,269	419,020
	水防費	9,788	10,164	9,642	9,625	9,625

決算額と構成の推移

(単位 千円)

科目	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般会計	106,821,906	101,580,452	106,932,872	112,394,166	106,887,317	
消防費	3,417,367	3,560,636	3,598,834	3,435,695	3,479,629	
消防費内訳	常備消防費	2,969,320	3,188,715	3,088,126	3,146,472	3,190,413
	非常備消防費	106,155	123,116	111,951	101,334	108,893
	消防施設費	331,833	238,895	388,969	177,823	170,681
	水防費	10,059	9,910	9,788	10,066	9,642
	消防費の構成比	3.2%	3.5%	3.4%	3.1%	3.3%
	人口一人当たりの消防費(円)	8,859	9,221	9,314	8,890	9,005
	1世帯当たりの消防費(円)	23,594	24,358	24,385	23,096	23,082

消防職員の配置

平成28年4月1日現在(単位 人)

区分		合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計		389	1	2	15	25	77	178	50	41
消防課	消防長	1	1							
	消防本部次長	1		1						
	総務課長	1				1				
	専任課長	1					1			
	総務課付	3						1	2	
	庶務担当	4						1	2	1
	人事教養担当	3						1	2	
	消防団担当	4						1	3	
	施設設備担当	3						1	1	1
	通信課長	1				1				
本部	専任課長	2					2			
	指課長補佐	1						1		
	第1課	7						1	6	
	第2課	7						1	5	1
	予課長	1				1				
消防課	専任課長	1					1			
	予防担当	3						1	1	1
	指導担当	3						1	2	
	危険物担当	2						1	1	
	調査担当	3						1	1	1
一宮消防署	署長	1		1						
	管理課長	1				1				
	担当	6						2	3	1
	消防1課長	2			2					
	消防2課長	2			2					
	救助担当司令	2				2				
	指揮係	8						2	6	
	警防1係	20						2	7	11
	警防2係	10						2	6	1
	救助係(特別救助隊)	12						2	7	3
第1消防署	急救係	10						2	5	2
	千担当司令	2				2				
	千秋消防出張所警防係	8						2	5	1
	千秋消防出張所救急係	10						2	4	3
	西担当司令	1				1				
	西成消防出張所警防係	11						2	5	2
	浅担当司令	1				1				
	浅井消防出張所警防係	11						2	5	1

平成28年4月1日現在(単位人)

		区分	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
一 宮 消 防 署	分 署 第 1 (第 2) 課	分署長	1			1					
		担当司令	2				2				
		警防係	10						2	8	
		救急係	10						2	3	3
		大担当司令	2				2				
		大和消防出張所 警防係	8						2	5	1
		大和消防出張所 救急係	10						2	5	3
		丹担当司令	2				2				
		丹陽消防出張所 警防係	8						2	4	1
		丹陽消防出張所 救急係	10						2	6	2
尾 西 消 防 署	第 1 (第 2) 課	署長	1			1					
		管理グループ	3						2	1	
		消防1課長	2			2					
		消防2課長	2			2					
		指揮係	8						2	3	2
		警防1係	10						2	5	3
		警防2係(特別消防隊)	12						2	8	1
		救急係	10						2	5	1
		担当司令	2			2					
		今伊勢・奥消防出張所 警防係	8						2	5	1
木 曾 川 消 防 署	第 1 (第 2) 課	今伊勢・奥消防出張所 救急係	10						2	4	4
		担当司令	2			2					
		萩原消防出張所 警防係	8						2	4	1
		萩原消防出張所 救急係	10						2	5	3
		署長	1			1					
		管理グループ	3						3		
		担当司令	2			2					
		警防係	10						2	4	2
		救助係	12						2	8	1
		救急係	10						2	4	2
葉 栗 北 方	第 1 (第 2) 課	担当司令	2			2					
		葉栗消防出張所 警防係	8						2	3	2
		葉栗消防出張所 救急係	10						2	5	2
		担当司令	1			1					
		北方消防出張所 警防係	9						2	4	3

消防職員の年齢

平成28年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合 計	389	1	2	15	25	77	178	50	41
18歳・19歳	2								2
20歳から24歳	20								20
25歳から29歳	44							26	18
30歳から34歳	76						52	23	1
35歳から39歳	82					1	80	1	
40歳から44歳	75					29	46		
45歳から49歳	25				3	22			
50歳から54歳	31			5	12	14			
55歳から59歳	34	1	2	10	10	11			
平均年齢	38.5	59.0	57.0	55.4	54.0	46.9	36.7	29.7	24.1

消防職員の勤続年数

平成28年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合 計	389	1	2	15	25	77	178	50	41
1年未満から5年	51							13	38
6年から10年	73						33	37	3
11年から15年	65						65		
16年から20年	56					12	44		
21年から25年	57					22	35		
26年から30年	25			1	4	19	1		
31年から35年	34		2	5	10	17			
36年以上	28	1		9	11	7			
平均年数	17.4	41.0	34.5	35.6	34.8	27.1	15.4	6.4	2.5

消防職員資格等保有状況

平成28年4月1日現在(単位人)

区分			合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防士補	消防士長	消防副士長	消防士
救急救命士			84			3	4	25	45	2	5
薬剤投与救急救命士			64			1	1	17	39	2	4
気管挿管救急救命士			15					5	10		
救急II課程・救急標準課程修了者			282	1	2	12	21	52	133	47	14
大型一種自動車免許			335	1		11	21	70	171	45	16
中型一種自動車免許			23						6	4	13
自動車整備士免許	ディーゼル	2	級	2						1	1
		3	級	2						2	
	ガソリン	2	級	4					1	2	1
		3	級	4					1	3	
	シャシ	3	級	6	1				2	3	
危険物取扱者免状	甲種			6		1	1		1	3	
	乙種	第4類	60			2	3	13	34	4	4
		第6類	15					3	10	1	1
	丙種			19				1	10	8	
陸上特殊無線技士	第2級			218		1	3	6	11	117	49
	第3級			103			6	4	39	54	
消防設備士免状	甲種			4		2		1	1		
	乙種			9		1	1	1	5		1
1・2級小型船舶操縦士免許			104		1	1	6	29	51	13	3
ガス溶接技能講習			35			3	11	10	10		1
有機溶剤作業主任者技能講習			12					4	8		
高圧ガス製造保安責任者免状			10			4	1	5			
第一種衛生管理者免許			17		2	2	2	7	4		
ボイラーアクセサリ取扱技能講習			8			4	1	2	1		
足場の組立て等作業主任者技能講習			35			2	5	15	13		
小型移動式クレーン運転技能講習			157	1		14	22	51	63	6	
玉掛け技能講習			258	1		9	8	25	135	50	30
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習			44	1		7	10	19	7		
潜水士免許			95					6	21	53	8
予防技術資格者(防火査察専門員)			17		2	1	3	5	6		
予防技術資格者(消防設備等専門員)			13					3	5	5	
予防技術資格者(危険物専門員)			15		2	1	3	6	3		
接遇研修指導者			6			2		3	1		
J K E T 研修指導者			5	1		2		2			

消防職員教育研修状況

平成27年度中

科 目	回数	日数	受講者	科 目	回数	日数	受講者
○派遣教育				○その他の教養			
県消防学校				研究会・講習会			
初任科(第100期)	1	166	2	消防大学校特別講習会	1	1	2
初任科(第101期)	1	176	2	愛知県消防学校受託研修	2	10	2
警防科(第64期)	1	21	3	安全運転管理者講習会	1	1	4
予防査察科(第50期)	1	12	3	副安全運転管理者講習会	1	1	1
救急科(第110期)	1	51	5	消防救急緊急自動車運転技能者研修	1	4	1
救急科(第111期)	1	54	5	緊急自動車運転技能講習	1	4	36
救助科(第41期)	1	29	2	整備主任者技術研修会	1	1	1
中級幹部科(第64期)	1	9	3	整備主任者定期研修会	1	1	1
はしご自動車等運用科(第21期)	1	3	1	調査技術会議	1	1	4
はしご自動車等運用科(第22期)	1	3	1	全国消防救助隊員シンポジウム	1	1	2
地震防災科(第10期)	1	2	2	全国救急隊員シンポジウム	1	2	1
指揮隊科(第4期)	1	5	2	救急救命士(気管挿管運用試験)	1	1	1
外傷・災害対応講習(Aコース)	1	1	1	日本救急医学会中部地方会	1	1	2
外傷・災害対応講習(Bコース)	1	1	1	日本集団災害医学会総会・学術集会	1	3	1
消防大学校				日本臨床救急医学会	1	3	1
救助科(第71期)	1	53	1	心電図セミナー(前期・後期)	2	1	4
火災調査科(第30期)	1	51	1	愛知県医師会主催 救急研修会	1	1	3
救急救命士養成課程(東京)	1	195	1	車両構造講習会	1	1	2
救急救命士養成課程(大阪)	1	196	1	車両構造講習会(新幹線)	1	1	2
○市職員研修				火災調査研究発表会	1	1	4
第1部前期(新規採用)研修	1	4	4	消防職員安全衛生研修会	1	1	1
第3部1期研修	2	2	15	危険物特別講演会	1	1	2
第4部新任主査研修	1	2	8	全国消防長会東海支部消防長研修会	1	1	1
新任課長級研修	1	1	2	全国消防長会東海支部 総務実務研修会	1	1	2
第4部新任副主監級研修	1	2	7	○資格取得・技能講習			
第5部ライフプラン研修	1	1	5	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	3	2
第5部クレーム対応研修	1	1	3	足場の組立て等作業主任者技能講習	1	2	3
平成27年度主査・主任集合研修	1	1	対象者	有機溶剤作業主任者技能講習	1	2	1
公務災害事務研修会	1	1	1	玉掛け技能講習	1	3	2
接遇指導者研修	1	3	1	小型移動式クレーン運転技能講習	1	3	6
災害対応力向上研修会	1	1	3	2級小型船舶操縦士	1	1	3
人事評価制度見直しに伴う評価者研修	2	1	対象者	気管挿管再教育病院実習	5	15	5
人事評価制度見直しに伴う被評価者研修	2	1	対象者	薬剤投与講習(指導者講習)	1	2	2
不当要求防止責任者講習会	1	1	7	プロトコール運用教育	1	1	3
採用面接研修	1	1	1	薬剤運用試験	1	1	5
○本部教養・所属教養				衛生管理者	1	1	1
職制教養	3	6	790	予防技術検定	1	1	2
集合研修	3	3	450				
初任者実務教養	2	183	4				
各種訓練研修	22	22	504				

災害防止

昭和60年10月一宮市消防職員安全管理規程を制定し、職員の安全管理と環境整備の促進を図るとともに、事故防止の徹底を図っています。さらに平成2年9月には労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

(単位 人)

区分	総括 安全衛生 管理者	副安全衛 生管理者	衛 生 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推進者
人 員	1	1	2	5	2	13

安全管理

最近の公務災害は、3年間で10件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区分	合計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合計	10	5	1			4
平成25年中	5	3				2
平成26年中	2		1			1
平成27年中	3	2				1

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった方に市長感謝状として贈るものです。

平成27年中

表彰種別	合計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	2	1		1	
表彰人員	5	1		4	

施設・装備充実事業

《一宮市・稻沢市消防指令センター》

- 消防行財政の効率化と消防体制の基盤強化を図るため、一宮市と稻沢市の各消防指令施設を統合した消防指令センターを整備



《尾西指揮車 更新》

- 災害対応能力の向上を図るため、車両を大型化し、初のストレッチャー式指揮盤を積載



《尾西救急1号車、大和救急1号車 更新》

高規格救急自動車

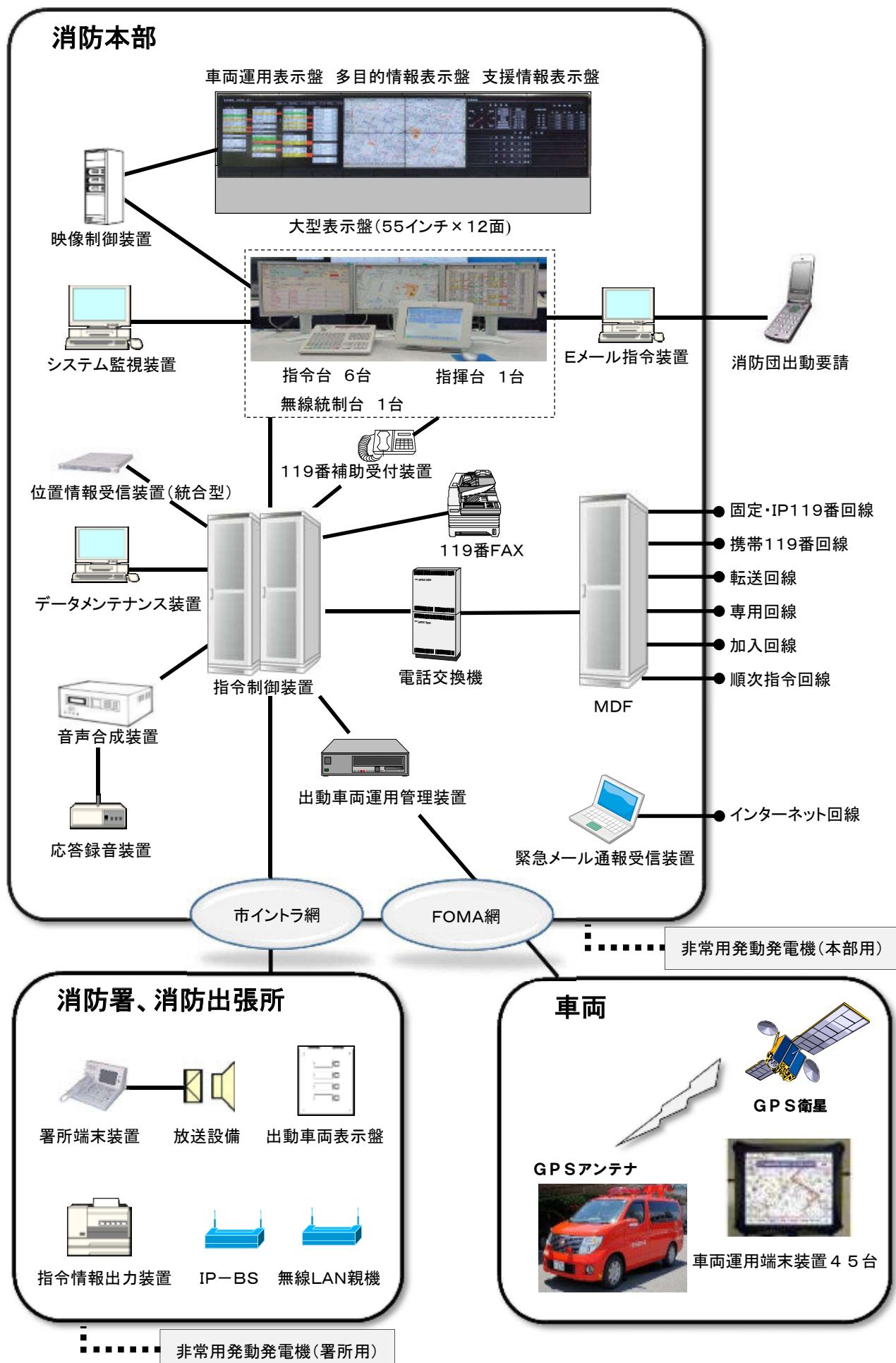
- 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



通 信

氣 象

指令システム構成図



無線設備

消防救急無線(260MHz 帯)

平成 28 年 4 月 1 日現在

種別	出力	実装チャンネル数	局数	
基地局	10W	統制波 3 主運用波 1 活動波 6	1	
移動局	車載型 10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	60	140
	携帯型 5W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	75	
	可搬型 10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	4	
	卓上型 10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	1	

署活動系無線(400MHz 帯)

種別	出力	実装チャンネル数	局数	
携帯型	1W	署活動波 2 防災相互波 1	30	

特定小電力トランシーバー

種別	出力	実装チャンネル数	局数	
携帯型	0.01W	47	170	

指令回線等一覧表

指令システム

平成28年4月1日現在

項目	名 称	回線数	内 訳
1	119番回線(固定電話用)	6	・12ch
2	119番回線(移動体用)	4	・8ch
3	指令回線	13	・署所端末装置指令回線:13 一宮消防署本署 一宮消防署分署 千秋消防出張所 大和消防出張所 西成消防出張所 丹陽消防出張所 浅井消防出張所 木曽川消防署 尾西消防署 葉栗消防出張所 萩原消防出張所 北方消防出張所 今伊勢・奥消防出張所
4	加入回線(ISDN)	4	・ISDN回線 8ch(順次指令用)
5	内線回線	6	・PBX内線収容
6	専用回線	4	・中部電力 ・東邦ガス ・中日本高速道路 ・名古屋高速道路
7	転送回線(ISDN)	2	・4ch
8	庁内放送回線	1	・庁内放送用
9	音声合成回線	17	・指令用:7 ・無線用:1 ・災害テレホンサービス用:1 ・順次指令用:8

電話回線

項目	名 称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	1	・2ch(障害時用)
2	加入回線(アナログ)	4	・FAX用:2 ・FAX兼119番迂回用:1 ・119番迂回用:1
3	携帯電話	37	救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:15、救助隊:2 通信指令課:4
4	加入回線(NTTひかり)	1	・23ch、33番号

月別119番受信状況

平成27年中

月種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	21,758	1,909	1,797	1,712	1,824	1,779	1,631	1,888	1,964	1,650	1,925	1,657	2,022
火 災	232	5	34	13	28	70	3	3	26	6	15	12	17
救 急	14,996	1,375	1,232	1,206	1,175	1,181	1,088	1,334	1,361	1,183	1,241	1,229	1,391
救 助	119	15	9	5	8	9	14	4	14	9	15	5	12
そ の 他 の 災 害	65	6	5	5	7	7	2	11	3	4	7	3	5
い た ず ら	67	1	2	8	5	6	11	5	6	1	11	4	7
間 違 い	1,221	55	72	86	113	131	85	154	94	101	114	92	124
問 合 せ	608	20	18	51	43	52	48	69	67	62	67	43	68
病 問 合 院 せ	769	98	65	59	54	72	62	66	64	49	58	59	63
訓 練	495	22	31	51	61	45	36	22	24	49	61	49	44
試 験	1,597	69	159	94	198	77	176	59	216	94	194	92	169
そ の 他	1,454	229	163	121	118	115	94	146	75	80	131	68	114
転 送	135	14	7	13	14	14	12	15	14	12	11	1	8

携帯電話からの月別119番受信状況

平成27年中

月 種 別 \	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	8,444	682	646	691	710	728	620	832	751	652	756	615	761
火 災	142	4	19	8	15	38	2	2	22	3	8	7	14
救 急	5,710	440	429	472	473	465	431	552	503	472	491	467	515
救 助	84	7	4	4	8	5	11	4	11	8	9	4	9
そ の 他 の 災 害	46	4	4	5	4	4	1	9	2	1	7		5
いたずら	27	1		4	4	4	2	2	1		4	1	4
間 違 い	609	22	29	35	44	65	38	75	64	57	64	41	75
問 合 せ	313	11	10	34	20	17	20	38	38	29	44	19	33
病 間 合 院 せ	422	53	44	32	25	36	35	35	33	27	35	33	34
訓 練	77	2	5	13	29	6	3	4	3		6	4	2
試 験	37	1	1	3	7		6	2	10		5	1	1
そ の 他	861	126	97	72	69	75	60	94	53	44	72	37	62
転 送	116	11	4	9	12	13	11	15	11	11	11	1	7

月別気象状況

平成27年中

区分	気温°C			風速m/s		相対湿度%		実効湿度%		降水量 mm
	最低	最高	平均	最大	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-2.7	12.3	4.3	18.1	2.0	41.2	80.6	73.5	80.8	98.0
2月	-2.3	15.7	4.9	15.4	2.0	32.1	77.2	68.6	77.7	27.0
3月	-1.6	22.0	9.0	16.4	2.0	14.2	73.7	57.5	74.1	152.5
4月	4.9	28.4	14.7	14.9	1.8	18.1	77.1	60.5	77.4	162.5
5月	8.8	33.6	20.8	16.0	1.9	19.6	63.8	55.3	64.4	134.0
6月	13.1	32.5	22.2	17.4	1.9	30.6	76.1	59.6	74.6	261.5
7月	18.4	36.1	26.3	17.1	1.9	40.4	80.8	70.7	81.2	217.5
8月	20.3	38.4	27.6	15.2	1.6	26.6	75.9	64.5	74.7	406.0
9月	14.1	30.7	22.3	15.0	1.7	30.9	80.1	68.8	81.7	291.5
10月	8.1	26.9	17.2	12.8	1.6	27.0	73.5	65.6	73.5	72.5
11月	3.4	23.2	13.4	15.6	1.3	35.3	84.6	68.5	83.4	169.5
12月	-0.4	21.4	8.5	20.7	1.7	35.0	79.5	71.2	79.7	112.5
年 間	-2.7	38.4	15.9	20.7	1.7	14.2	76.8	55.3	76.9	2,105.0

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

警報の種類	基 準	
暴風	平均風速	20m/s
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う
大雨(浸水害)	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm 平坦地以外:1時間雨量 80mm
洪水	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm 平坦地以外:1時間雨量 80mm
	流域雨量指数基準	青木川流域=13 大江用水流域=14
	複合基準	平坦地:3時間雨量70mmかつ流域雨量指数日光川流域=5
大雪	降雪の深さ	24時間降雪の深さ20cm

注意報の種類	基 準	
強風	平均風速	13m/s
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う
大雨	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm 平坦地以外:1時間雨量 30mm
	土壤雨量指数基準	116
洪水	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm 平坦地以外:1時間雨量 30mm
	流域雨量指数基準	青木川流域=10 大江用水流域=11
大雪	降雪の深さ	24時間降雪の深さ5cm
雷	落雷等により被害が予想される場合	
乾燥	最小湿度30%で、実効湿度60%	
濃霧	視程	100m
霜	晩霜期に最低気温3°C以下	
低温	冬期:最低気温-4°C以下	
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が予想される場合	
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm

消防団

消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時においては、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

平成27年度中における主な活動は、火災出動延べ113回、1,073人、訓練出動延べ2,157回、17,328人でその他、出初式、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害賠償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

平成28年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消防団員現員数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 （ 支 援 団 員 ）
1	25	598(82)	516(43)	1	4	25	25	25	25	411(43)

※()内は支援団員数で内数で記載

消防団の活動状況

平成27年度中

区分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 搜 索	風 水 害	点 検
延出動回数	2,663	113	2,157	52	119	0	0	222
延出動人員	20,859	1,073	17,328	662	1,354	0	0	442

年報酬額

平成28年4月1日現在

階級	基本団員						支援団員 団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	
金額(円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000 10,000

費用弁償

平成28年4月1日現在

出動区分	災害出動	訓練等出動	観閲出動	出初め出動	警戒出動	年末警戒出動	機械点検出動
金額(円)	2,800 以内	1,700 以内	2,600 以内	2,600 以内	2,200 以内	2,600 以内	2,000 以内

消防団員の退職状況

平成27年度中(単位 人)

退職団員数	21歳未満	21歳以上25歳以下	26歳以上30歳以下	31歳以上35歳以下	36歳以上40歳以下	41歳以上45歳以下	46歳以上50歳以下	51歳以上
35		2	3	4	6	5	4	11

消防団員の新任状況

平成27年度中(単位 人)

新任団員数	21歳未満	21歳以上25歳以下	26歳以上30歳以下	31歳以上35歳以下	36歳以上40歳以下	41歳以上45歳以下	46歳以上50歳以下	51歳以上
37	1		3	9	9	4	8	3

消防団員の職業構成と就業形態

平成28年4月1日現在(単位 人)

職業構成	公務員等	国家公務員	
		地方公務員	12
		特殊法人等公務員に準ずる職員	22
	その他	その他	482
合計			516
就業形態	被雇用者		303
	自営業者		138
	家族従事者		10
	その他	その他	65

消防団員の年齢

平成28年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団(支援団員)
合計	516 (43)	1	4	25	25	25	25	411 (43)
21歳未満	4							4
21歳以上 25歳以下	9							9
26歳以上 30歳以下	14						2	12
31歳以上 35歳以下	37 (1)				1		2	34 (1)
36歳以上 40歳以下	66 (3)			1		3	1	61 (3)
41歳以上 45歳以下	100 (6)			2	4	5	7	82 (6)
46歳以上 50歳以下	90 (9)			4	5	5	5	71 (9)
51歳以上 55歳以下	76 (6)		1	7	8	6	3	51 (6)
56歳以上 60歳以下	57 (9)		1	6	1	4	3	42 (9)
61歳以上 65歳以下	31 (5)		1	1	5		1	23 (5)
66歳以上 70歳以下	28 (4)	1	1	4	1	1	1	19 (4)
71歳以上	4					1		3
平均年齢	47.6	66.0	61.0	55.2	52.4	50.1	46.6	46.6

※()内は支援団員数で内数で記載

消防団員の勤続年数

平成28年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団(支援団員員)
合計	516 (43)	1	4	25	25	25	25	411 (43)
1年未満から5年	152 (12)			1	2	2	5	142 (12)
6年から10年	107 (7)			1	5	4	8	89 (7)
11年から15年	73 (4)			2	4	4	4	59 (4)
16年から20年	84 (9)		1	5	7	11	4	56 (9)
21年から25年	44 (3)			8	5	2	3	26 (3)
26年から30年	26 (5)			5	1	1	1	18 (5)
31年から35年	18 (1)		2	1	1	1		13 (1)
36年から40年	7 (1)		1	2				4 (1)
41年から45年	5 (1)	1						4 (1)
46年以上								
平均年数	12.5	45.0	30.8	22.1	15.9	15.4	12.0	11.3

※()内は支援団員数で内数で記載

予 防

火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要あります。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)
平成27年度中 (下段:参加人員)

区分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 講	修 演	会 会	甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習 再 講 習
合 計	24	945 66,597		12 613		6 347
4 月	2	64 2,857		1 100		
5 月	1	104 6,454				新規講習 2 134
6 月	2	87 5,164				新規講習 1 67
7 月	3	37 2,139		1 100		
8 月	3	55 5,357		2 48		
9 月	1	114 11,585		4 270		
10 月	2	114 6,812		1 50		
11 月	3	123 8,642		1 10		新規講習 2 113
12 月	2	67 4,480				
1 月	3	35 4,882				
2 月		60 5,473		2 35		再講習 1 33
3 月	2	85 2,752				

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

平成28年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		婦 人 消 防 ク ラ ブ	
ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
91	10,543	42	7,389	10	390

街頭消火器設置状況

平成28年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	338	今 伊 勢 町	631
貴 船	308	奥 町	368
神 山	425	萩 原 町	496
大 志	265	千 秋 町	469
向 山	290	起	115
富 土	327	小 信 中 島	251
葉 栗	430	三 条	301
西 成	843	大 德	275
丹 陽 町	619	朝 日	387
浅 井 町	520	開 明	232
北 方 町	255	木 曽 川 町	900
大 和 町	972	合 計	10,017



1.安全栓を抜く

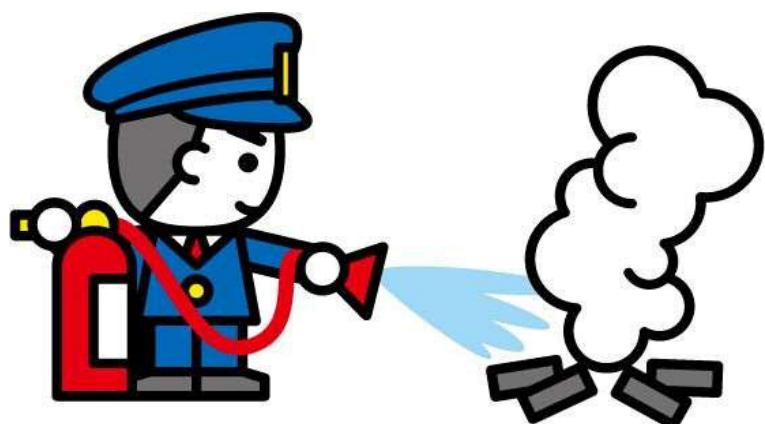
2.ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)

3.レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

平成27年度中

区分	合計		建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	6	11	5	10			1	1
4 月								
5 月	1	5	1	5				
6 月								
7 月								
8 月	1	2	1	2				
9 月								
10 月								
11 月								
12 月	1	1	1	1				
1 月	1	1	1	1				
2 月	1	1	1	1				
3 月	1	1					1	1



査察対象物数

平成28年4月1日現在

防火対象物		査察種別	1種	2種	3種	合計	特定防火対象物	非特定防火対象物
合計			1,264	1,752	1,388	4,404	1,843	2,561
1	イ	映画館・観覧場等	6			6	6	
	ロ	公会堂・集会場	87		69	156	156	
2	イ	キャバレー・カフェー等	1		4	5	5	
	ロ	遊技場・ダンスホール	21			21	21	
3	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	2		7	9	9	
	ニ	カラオケボックス等	17			17	17	
4	イ	待合・料理店	4			4	4	
	ロ	飲食店	70		215	285	285	
4		百貨店・マーケット	222		157	379	379	
5	イ	旅館・ホテル	23			23	23	
	ロ	寄宿舎・共同住宅		768	350	1,118		1,118
6	イ	病院・診療所	93		34	127	127	
	ロ	老人短期入所施設等	105			105	105	
7	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	156		48	204	204	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	28			28	28	
7		小・中・高・大学校等	14	66	8	88		88
8		図書館等		7		7		7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場		4	2	6		6
10		車両停車場・船舶・航空機発着場						
11		神社・寺院・教会		10	44	54		54
12	イ	工場・作業場	33	407	52	492		492
13	イ	自動車車庫・駐車場	5	8		13		13
14		倉庫	37	231	13	281		281
15		官公署・事務所等	12	179	154	345		345
16	イ	特定複合用途防火対象物	325		149	474	474	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物	3	69	82	154		154
17		文化財建造物		3		3		3
18		アーケード						

備考

- 1種:定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項口を除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種:消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種:消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

中高層建築物数

平成28年4月1日現在

区分	合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	18階	20階	21階
合計	3,532	1,941	761	319	141	91	107	40	54	32	15	15	7	6	1	1	1
宮西	261	122	55	25	14	14	12	5	4	5	1		3	1			
貴船	188	101	36	14	9	6	8	2	7	3	1	1					
神山	408	178	102	20	26	17	23	17	13	4			5	1	2		
大志	289	152	62	37	13	2	7		4		3	3	1	2	1	1	1
向山	115	62	30	6	4	3	6	1	2	1							
富士	127	70	24	16	5	4	3		3	1		1					
葉栗	61	31	20	7		3											
西成	205	125	44	20	4	3	5	2	2								
丹陽町	345	206	85	23	15	2	4	4	2	3	1						
浅井町	68	37	12	8	2	2	2	4		1							
北方町	31	16	6	3		2	3	1									
大和町	396	205	84	44	22	20	12	1	5	2	1						
今伊勢町	177	114	23	11	8	4	3	2	2	4	4	1	1				
奥町	86	60	12	5	2	1	3		2	1							
萩原町	80	46	15	7	2	3	4		1	2							
千秋町	76	47	22	7													
起	23	17	2	1		1	1						1				
小信中島	80	49	9	11	2	2	1		4	1	1						
三条	122	71	20	17	5	1	3				2	3					
大徳	65	27	21	10	3		1	1		1	1						
朝日	42	19	17	5	1												
開明	68	51	11	3	1				1	1							
木曽川町	219	135	49	19	3	1	6		2	2		1		1			

各種届出件数

平成27年度中

区分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防計画作成(変更)届	454	42	44	51	45	28	39	23	37	34	40	33	38
防火・防災管理者選任(解任)届	575	103	65	81	46	26	34	25	36	62	12	41	44
全体についての消防計画作成(変更)届	2						1		1				
統括防火・防災管理者選任(解任)届	4		1	1		1			1				
防火対象物点検結果報告書	117	7	5	6	8	13	17	12	15	9	7	12	6
防災管理点検結果報告書	12	1	7			2			1				1
管理権原者変更届													
自衛消防組織設置(変更)届	6			3		1				2			
ボイラー等設置届	41		3	7	3	6	5		5	1	2	6	3
変電設備設置届	50	5	2	6	3	4	9	3	1	7	4	2	4
燃料電池発電設備設置届													
発電設備設置届	17	1	1		5		2	1		2	1	2	2
蓄電池設備設置届	23	4		2	1		1	3	4	1	3	3	1
ネオン管灯設備設置届													
火災とまぎらわしい煙・たき火届	127	1		5	4	3	1	6	26	62	13	4	2
煙火打上げ・仕掛け届	23	1		2	4	5	2	3		3	2		1
溶接・溶断作業届	44	3	3	6	5	1	2	5	5	1	6	5	2
催物開催届	21	1	3	2	4	1	2	1	2	2	1		2
水道断・減水届													
道路工事届	3,159	218	230	317	266	187	279	269	299	339	268	200	287
露店等の開設届	124	13	3	7	37	17	8	20	6	5		2	6
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届	60	4	5	6	12	5	1	4	3	2	6	4	8
少量危険物貯蔵取扱届	32		6		3	3	5	2	1	2	1	4	5
少量危険物貯蔵取扱廃止届	11			2			3	1			1	3	1
指定可燃物貯蔵取扱届	4	1					1						2
指定可燃物貯蔵取扱廃止届													
消防用設備等設置届	336	24	26	22	22	24	29	24	25	27	18	47	48
消防用設備等点検結果報告書	3,044	287	215	256	205	150	252	233	243	455	202	202	344
消防用設備等着工届	259	27	18	21	23	25	26	17	12	22	27	25	16
避難・警報設備着工届	170	23	15	3	23	13	12	13	9	11	7	25	16
消防用設備等の特例適用願	18	1		5	2	1	2	3				3	1
防火対象物使用開始届	153	12	9	11	10	14	13	10	13	9	12	9	31
喫煙等の禁止解除申請	103	17	18	19	4	1	2	2	4	13	8	7	8
指定洞道等届													
消防訓練実施届	945	79	111	65	43	76	98	117	130	45	42	65	74
防火防災訓練実施届	204	65	29	22	10	16	21	14	8	4	6	4	5

用途別同意建築物数

平成27年度中

防 火 対 象 物			合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			519	33	86	47	41	35	45	56	37	43	29	36	31
1	イ	映画館・観覧場等													
	ロ	公会堂・集会場	8			3	1		1	1					2
2	イ	キャバレー・カフェ等													
	ロ	遊技場・ダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊 営業店舗等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待合・料理店													
	ロ	飲食店	9	2		1	1	2					2	1	
4	百貨店・マーケット		35	5	2	5		3	2	3	3	3		5	4
5	イ	旅館・ホテル													
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	45	3	3	2	2	3	11	2	5	9	1	3	1
6	イ	病院・診療所等	10	1	1	1	1	1			1		2	1	
	ロ	特定社会福祉施設等	9				2	1		1	2		1		2
	ハ	社会福祉施設・保育園等	10	1		1		1	4	2	1				
	二	幼稚園・特別支援学校													
7	小・中・高・大学校等		6			2			1		1		1		1
8	図書館等														
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場													
	ロ	公衆浴場													
10	車両の停車場等														
11	神社・寺院・教会		4				1	1					1	1	
12	イ	工場・作業場	21	1	2		5		2	3	1	1	2	3	1
13	イ	自動車車庫・駐車場	12	1	3		1	2		2		2	1		
14	倉庫		34	1	4	7	1	1	2	6	3	2	3	2	2
15	官公署・事務所等		97	3	43	5	4	4	5	4	8	9	6	1	5
16	イ	特定複合用途防火対象物	13		5	1		1	1	2	1		1	1	
	ロ	特定以外の複合用途 防 火 対 象 物	8	1	1	1	1		1	1		1		1	
専用住宅			198	14	22	18	21	15	14	29	11	16	10	16	12

危険物施設数

平成28年4月1日現在

区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	売取扱所
合計	444	3	277	61	51	37	90		32	6	164	116	34	47	1
宮西	11		5	2		1	2				6	3	1	2	1
貴船	9		5		2		3				4	3	2	1	
神山	19		15	1	4	2	2		6		4	1			3
大志	3		2				2				1				1
向山	13		9	1			4		3	1	4	3	1	1	
富士	8		3			1	2				5	4	1	1	
葉栗	11		6		1		4			1	5	5	2		
西成	36		22	2	8	1	6		5		14	13	2	1	
丹陽町	40		25	9	1	1	12		2		15	12	4	3	
浅井町	14		8	1	1	2	4				6	3	2	3	
北方町	18	3	11	1	3		6			1	4	2		2	
大和町	36		19	4		2	12			1	17	12	5	5	
今伊勢町	16		12	5	2	2	2		1		4	2	2	2	
奥町	16		12	2		5	5				4	3	1	1	
萩原町	33		16	5	3	1	2		5		17	14	2	3	
千秋町	15		8	1	1	2	3		1		7	7	1		
起	7		4		2	2					3	1		2	
小信中島	6		4	1	1	2					2	2	1		
三条	12		5	1	1	1	2				7	5	3	2	
大徳	12		9		1	3	4		1		3	1		2	
朝日	54		41	16	11	3	8		3		13	5		8	
開明	23		18	6	2	4	4		1	1	5	2	1	3	
木曾川町	32		18	3	7	2	1		4	1	14	13	3	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

平成28年4月1日現在

区分			合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
					小計	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易貯蔵所	移動貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油所	セルフ給油所	一般取扱所	販売取扱所
許可施設数	444	3	277	61	51	37	90			32	6	164	116	34	47	1		
倍数別	5倍以下		130		108	23	8	15	35		25	2	22				21	1
	5倍を超え 10倍以下		98	1	76	21	13	21	17			4	21	5			16	
	10倍を超え 50倍以下		123	1	73	13	26	1	28		5		49	40			9	
	50倍を超え 100倍以下		19	1	16	4	3		7		2		2	1			1	
	100倍を超え 150倍以下		9		2				2				7	7				
	150倍を超え 200倍以下		19		1		1						18	18	2			
	200倍を超え 1,000倍以下		46		1				1				45	45	32			
	1,000倍を超え 5,000倍以下																	
	5,000倍を超え 10,000倍以下																	
	10,000倍を超えるもの																	
類別別	単独	第1類		1		1	1											
		第2類																
		第3類																
		第4類		440	3	273	57	51	37	90		32	6	164	116	34	47	1
		第5類		1		1	1											
		第6類																
	混在		2		2	2												

危険物施設の設置・変更許可等

平成27年度中

区分		合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油所	一般取扱所	セルフ給油取扱所	販売取扱所
許可	設置	4		1	1							3	2	1	1	
	変更	51		8	1	1		3		3		43	20	7	23	
仮使用承認		44		3			1	2				41	19	7	22	
完成検査	設置	6		2	1			1				4	3	1	1	
	変更	55	1	7			1	3		3		47	23	8	24	
仮貯蔵・仮取扱承認		2														

タンク検査状況

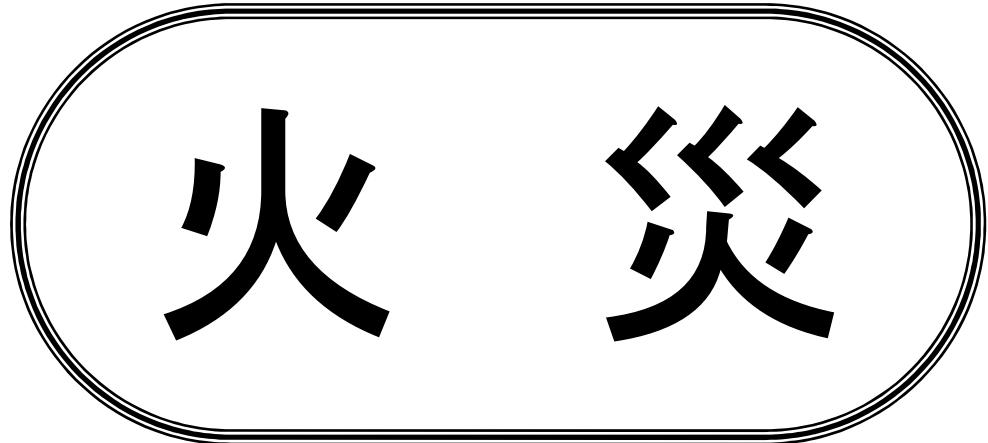
平成27年度中

検査区分	容量	件数	小計	合計
水張検査	1万リットル以下のタンク	12	13	21
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク	1		
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水圧検査	1万リットル以下のタンク	8	8	
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

平成27年度中

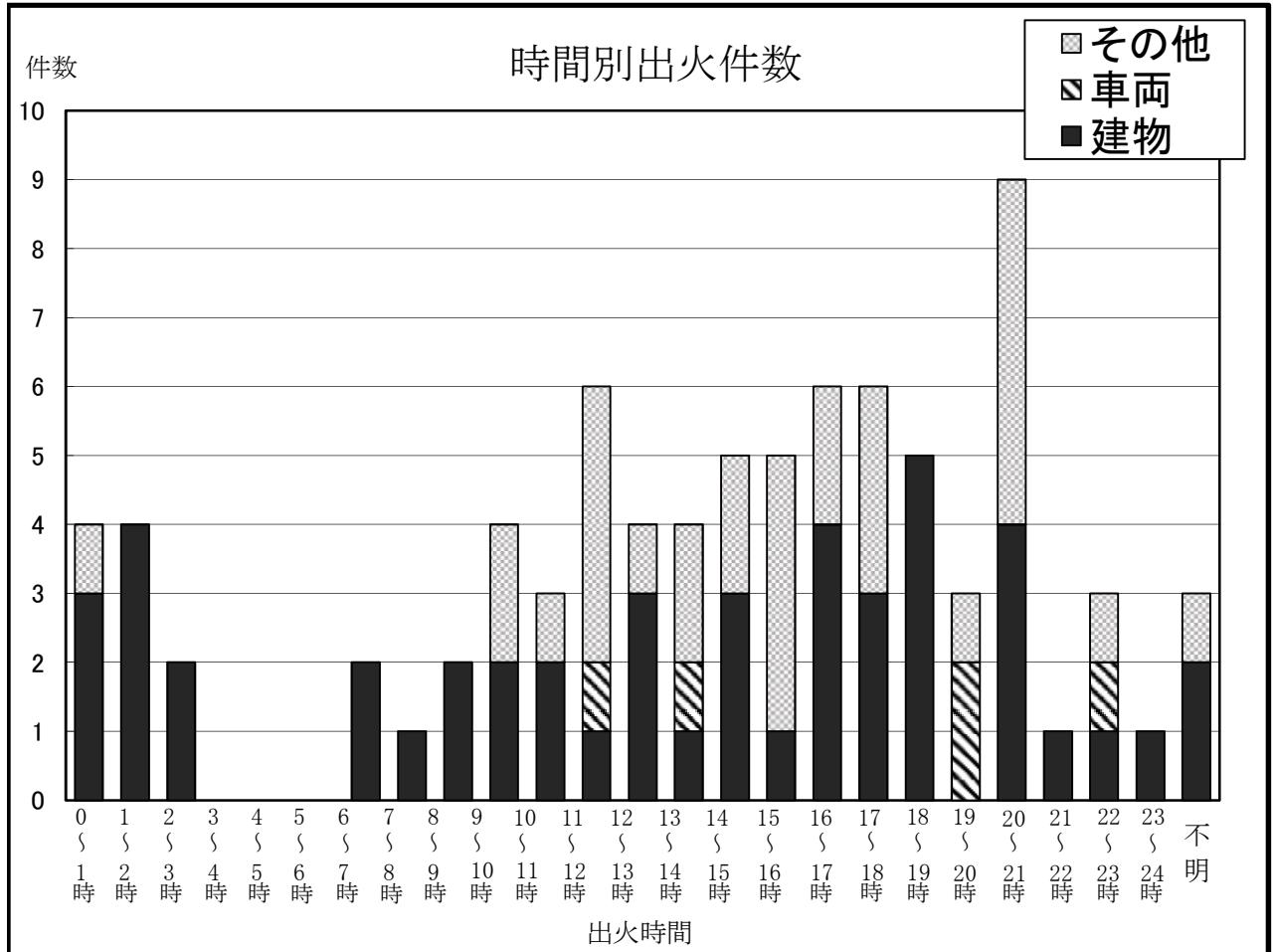
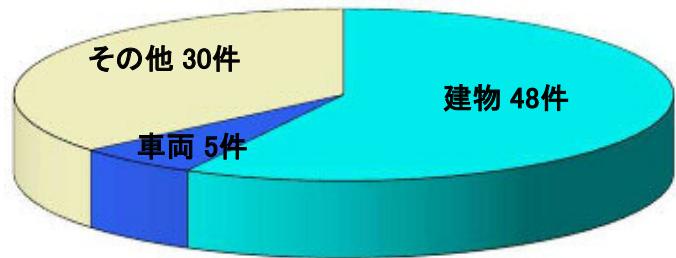
合計	予防規程制定・変更認可申請	譲渡	品名・数量	廃止	変更	事故	事故発生	休止	再開	許可書等	設置・変更許可申請	設置・変更許可申請	保安監督者選任・解任届	資料提出	火気使用	軽微工事	地下貯蔵タンク等に関する計画届
229	15	5	3	19	36	4	2						30	55		60	



火災の概況

平成27年中

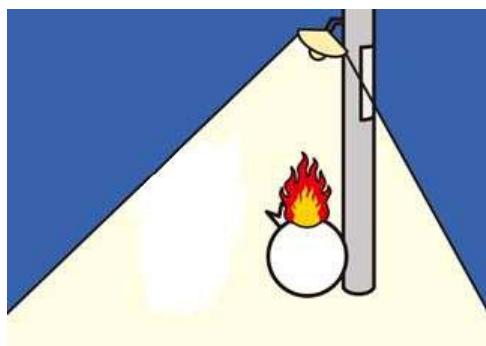
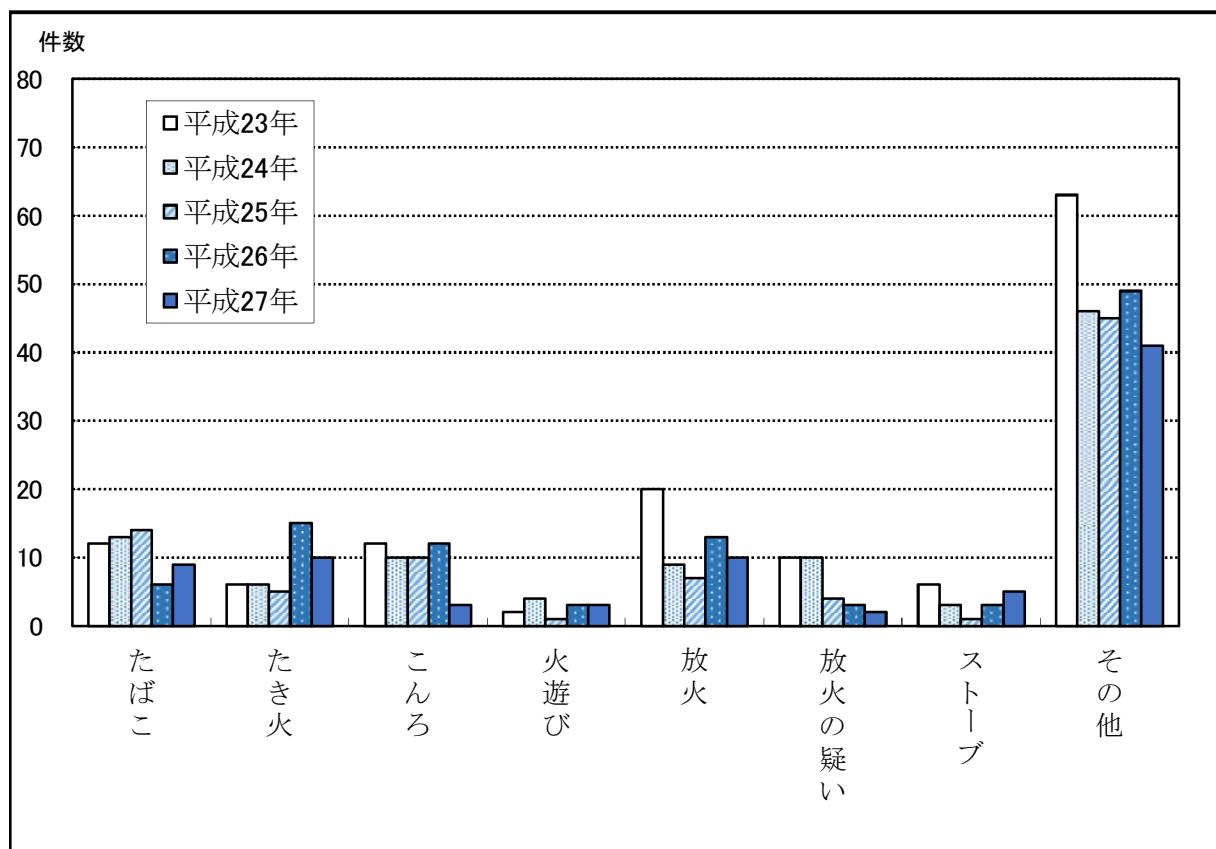
区分	火災件数	火災種別			焼損棟数 (棟)	り災世帯数 (世帯)	死者 (人)	負傷者 (人)	建物焼損床面積 (m ²)	建物焼損表面積 (m ²)	その他 (m ²)	損害額 (千円)
		建物	車両	その他								
合計	83	48	5	30	75	53	5	9	1,800	376	5,635	87,236



出火原因

(単位 件)

区分	合計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	ストーブ	その他
平成23年	131	12	6	12	2	20	10	6	63
平成24年	101	13	6	10	4	9	10	3	46
平成25年	87	14	5	10	1	7	4	1	45
平成26年	104	6	15	12	3	13	3	3	49
平成27年	83	9	10	3	3	10	2	5	41



建物用途別・原因別件数

平成27年中

区分	合計	住宅火災				店舗	工場・作業場	飲食店	その他
		計	一般住宅	共同住宅	併用住宅				
合計	48	30	20	8	2	5	7	1	5
たばこ	7	7	3	3	1				
こんろ	3	3		2	1				
風呂かまど	1	1	1						
ストーブ	5	4	3	1				1	
電気機器									
電灯・電話等の配線	3	1	1				2		
火あそび	2	1	1			1			
たき火	1	1	1						
放火	7	3	3			1	1		2
放火の疑い									
その他	8	3	3			2	3		
不明	11	6	4	2		1	1		3

連区・月別の火災件数

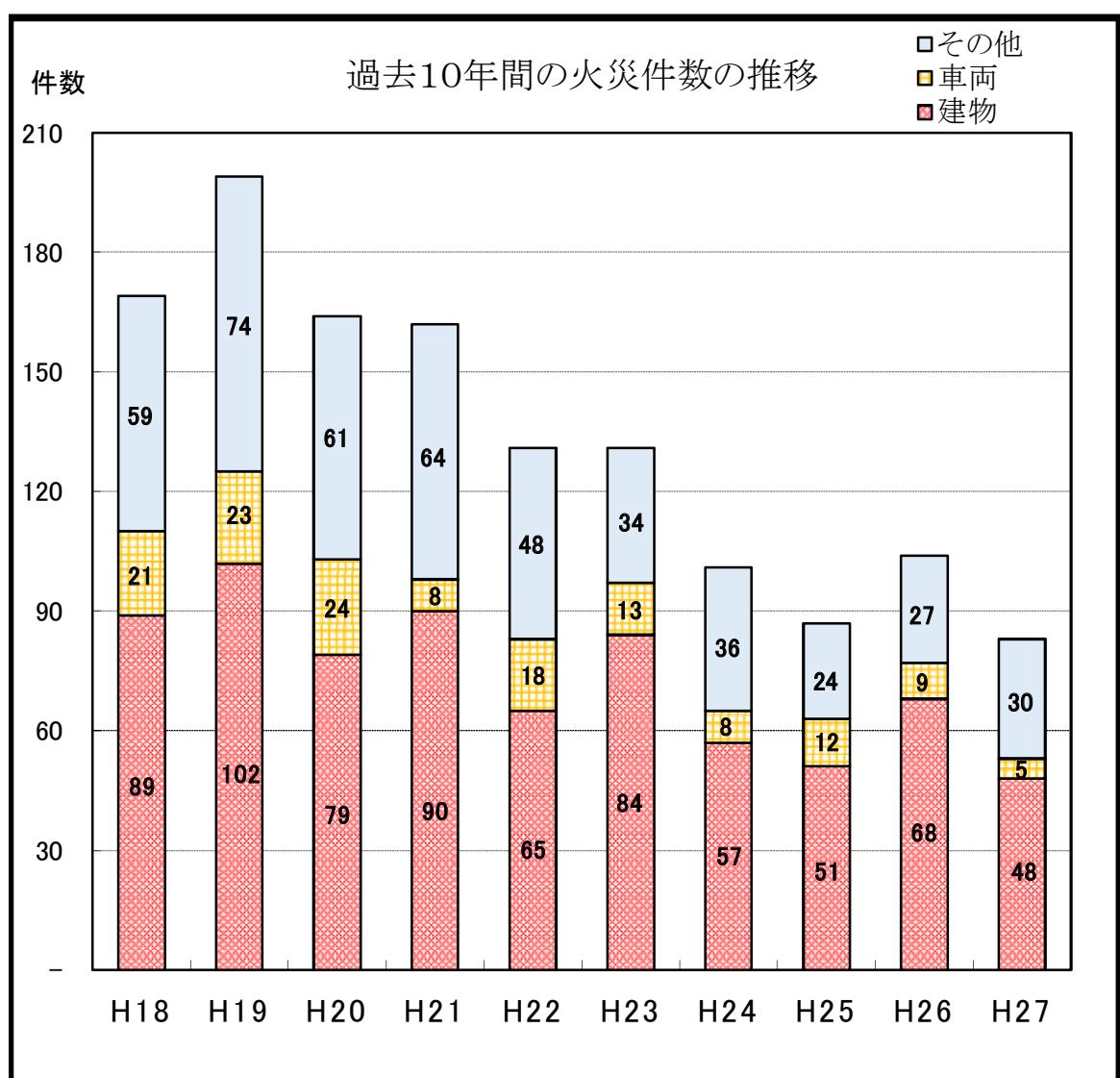
区 分	種 別 件 数				り 災 棟 数				り 災 世 帯				
	合	建 物		車	そ の 他	全	半	部	ぼ	全	半	小	り 災 人 員
		延	不 延			焼	焼	焼	や	損	損	損	
計	83	9	39	5	30	11	6	27	31	10	4	39	151
宮 西	1				1								
貴 船													
神 山	4		3		1			1	2			3	10
大 志	2	1	1			1		5	1	1		6	33
向 山													
富 士	2			1	1								
葉 栗	2		1		1			1				1	2
西 成	10	2	4		4	1	1	2	5		1	4	17
丹 陽 町	3		2		1			2		1			1
浅 井 町	6		3		3		1	1	1		1	2	8
北 方 町	1		1						1				
大 和 町	7	1	5	1		1	2	5	1	2	2	7	19
今 伊 势 町	2	1			1	4		1	6	2		6	26
奥 町	1	1						2					
萩 原 町	7	1		1	5	1			1	1			1
千 秋 町	8		1	1	6				1			1	1
起													
小 信 中 島	1		1						1			1	1
三 条	6		6					2	4			1	2
大 德	1		1						1			1	1
朝 日	7	1	2	1	3	2			2	1		1	6
開 明	5		4		1		1	1	2	1		2	7
木 曾 川 町	7	1	4		2	1	1	4	2	1		3	16
1月	7		5		2				5			4	15
2月	6	3	1	1	1	2		3	4	2		6	26
3月	8		3		5			1	2			2	6
4月	7	2	2	1	2	1		8	1	1		6	26
5月	12	4	4	1	3	7	2	7	8	6	1	10	37
6月	6		5		1			2	3			3	5
7月	2		1		1				1			1	2
8月	8		3	1	4	1		1	1			1	1
9月	4		3		1			2	1			1	2
10月	11		3	1	7		2	1		1		1	4
11月	4		3		1			2	1		1	2	11
12月	8		6		2		2		4		2	2	16

平成27年中

死傷者		焼損面積(m ²)			損害額(千円)						火災一件当たりの損害額(千円)
死 者	傷 者	床 面 積	表 面 積	そ の 他	合 計	建 物	収 容 物	車 両	そ の 他	爆 発	
5	9	1,800	376	5,635	87,236	67,326	17,087	2,768	55	1,051	
				8							
1		38			8,667	8,407	258		2	2,167	
1	2	133	56		3,523	2,662	366	495		1,762	
				2	12				12	6	
		2	4		14	13	1			7	
1	120	5	3,288		5,541	5,095	446			554	
	65		13		7,893	7,480	413			2,631	
	73		2		8,629	7,040	1,567		22	1,438	
1	263	59			17,000	14,188	1,864	948		2,429	
1	371	3	4		4,831	3,885	798	148		2,416	
	4	5			19	19				19	
1		169	1	364	1,786	1,424		362		255	
1			1,427		697		2	695		87	
					1		1			1	
1		204			991	364	627			165	
2		251	1	504	4,376	3,025	1,231	120		625	
2	43				5,171	5,106	46		19	1,034	
	270	40	19		18,085	8,618	9,467			2,584	
		1	53		73	24	28		21		
	454	30	1,331		20,566	10,715	9,851				
		2	1,059		15	13	2				
1	1	138	61		4,627	2,785	399	1,443			
1	2	888	43	224	23,405	20,651	2,232	510	12		
	1	24		9	4,217	3,867	350				
				13							
1	1	27	24	83	991	71	224	695	1		
	1		202	128	394	362	32				
1	1	82	11	2,530	6,071	5,903	46	120	2		
	1	73			12,791	11,497	1,275		19		
	1	114	2	205	14,086	11,438	2,648				

過去10年間の火災発生件数

区分	火 灾 件 数				焼損床面積 (m ²)	死傷者		損 害 額 (千 円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成18年	169	89	21	59	7,986	5	35	823,324
平成19年	199	102	23	74	7,103	9	19	496,587
平成20年	164	79	24	61	2,016	10	15	120,129
平成21年	162	90	8	64	3,945	5	27	166,070
平成22年	131	65	18	48	3,362	8	20	121,566
平成23年	131	84	13	34	2,616	7	15	162,609
平成24年	101	57	8	36	1,818	2	20	116,025
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673
平成26年	104	68	9	27	4,255	5	13	248,407
平成27年	83	48	5	30	1,800	5	9	87,236



警
防

消防車両の配置状況

消防本部・消防署

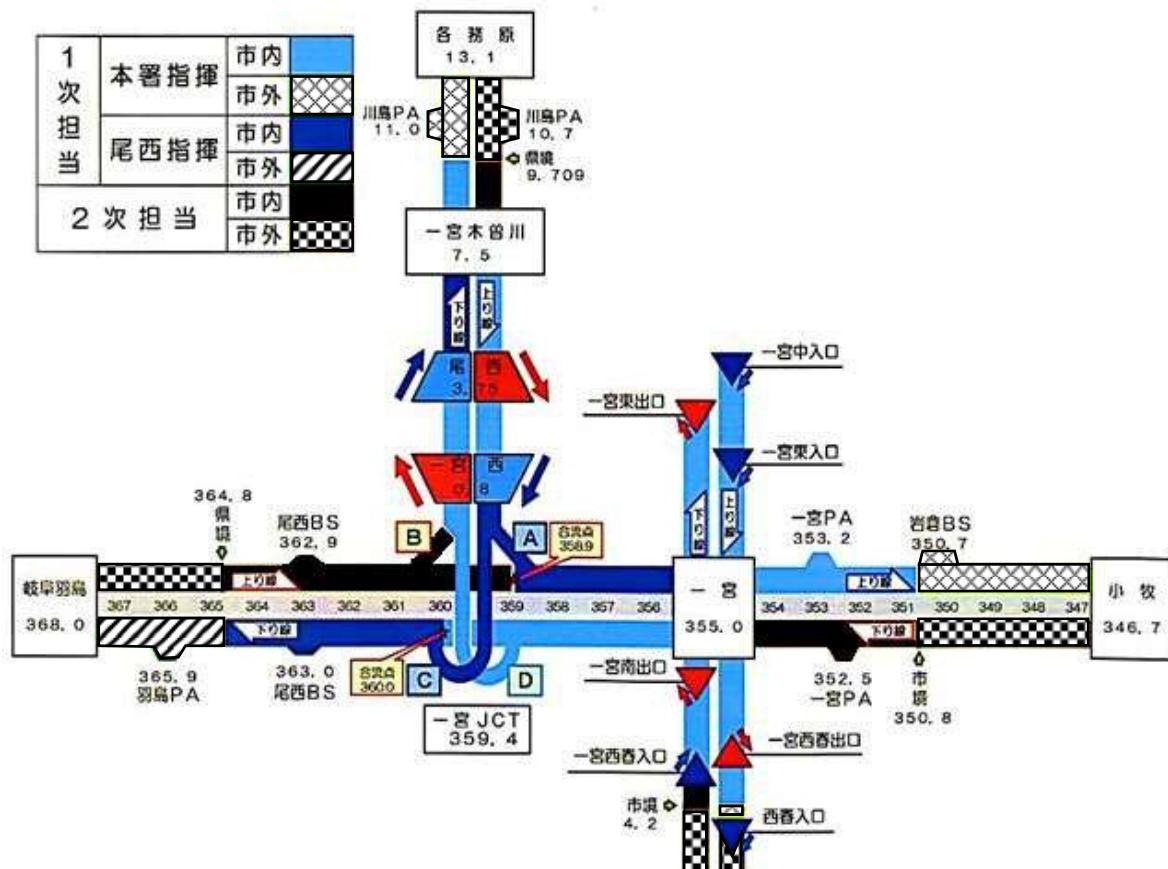
平成28年4月1日現在

区分	車両		
一 宮 消 防 署	本部・本署	指令車	2台 救助工作車 1台
		指揮車	1台 高規格救急自動車 2台
		水槽付消防ポンプ自動車	3台 広報車 9台
		はしご付消防自動車	1台 搬送車 2台
分 署	西成消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	千秋消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台 高規格救急自動車 1台
		消防ポンプ自動車	1台
	浅井消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
尾 西 消 防 署	分署	指令車	1台 高規格救急自動車 1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台 広報車 1台
	大和消防出張所	化学消防ポンプ自動車	1台 高規格救急自動車 2台
	丹陽消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台 高規格救急自動車 1台
	尾西消防署	指令車	1台 高所作業車 1台
		指揮車	1台 高規格救急自動車 2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台 広報車 3台
		化学消防ポンプ自動車	1台 搬送車 1台
	萩原消防出張所	はしご付消防自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台 高規格救急自動車 1台
木 曾 川 消 防 署	木曾川消防署	水槽付消防ポンプ自動車	2台 広報車 2台
		救助工作車	1台 搬送車 1台
		高所作業車	1台
	葉栗消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台 高規格救急自動車 1台
	北方消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台

高速道路の火災

平成10年12月13日、東海北陸自動車道が一宮JCT～尾西ICの開通により名神高速道路と結ばれ、さらに平成17年2月11日名古屋高速道路16号線が開通しました。

これに伴い本市の第1次担当区域は、下図に示すとおり広範囲になりました。



<過去10年間の出動件数>

区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
計	7	8	5(1)	3(1)	2	2	1(1)	1	2(1)	1
車両	6	8	4(1)	3(1)	2	2		1	2(1)	1
その他	1		1				1(1)			

※()内は管轄外出動で内数で記載

災害種別の出動状況

平成27年中

区分		出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)	
合 計(1)+(2)+(3)		2,869	3,490	12,762	
小 計(1)		83	545	1,982	
火 災	一般火災	建物火災	46	369	1,347
		高層火災	2	22	82
		車両火災	4	8	30
		その他の火災	30	145	520
	特殊火災	地下火災			
		特殊車両火災			
		航空機火災			
	特別火災	指定建物火災			
		危険物施設火災			
	高速自動車道	車両火災	1	1	3
		車両以外の火災			
		その他の火災			
小 計(2)		109	156	575	
警 戒	特別ガス漏れ				
	ガス漏れ		6	24	92
	怪煙		8	16	58
	漏油		83	85	312
	火災警戒		6	17	67
	その他		6	14	46
小 計(3)		2,677	2,789	10,205	
焼損事故		23	56	200	
誤報		18	73	262	
虚報		2	13	46	
応援(火災・警戒)		4	5	18	
救急支援		2,630	2,642	9,679	

消防活動用資器材の配置

平成28年4月1日現在

	区分	合計	配置場所												
			本署	西成	千秋	浅井	分署	大和	丹陽	尾西	萩原	今伊勢・奥川	木曽川	北方	葉栗
一般救助器具	かぎ付はしご	8	2							4			2		
	三連はしご	21	3	1	1	1	1	1	1	3	2	2	3	1	1
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤーはしご	5	1		1			1	1		1				
	空気式救助マット	3	1							1			1		
	救命索発射銃	2	1										1		
	サバイバースリング 又は救助用縛帶	38	11	1	2	2	1	1	1	7	2	2	6	1	1
	平担架	7	2				1			3			1		
	バスケット担架	3	1							1			1		
	滑車	50	29										21		
	送排風機	2	1										1		
重量物排除器具	安全帶	45	19							15			11		
	緩降機	2								1			1		
	マンホール救助器具	3	2										1		
	油圧ジャッキ	18	2	1	2	1	1	1	1	2	1	2	2	1	1
	油圧スプレッダー(大型含む)	6	1		1				1	1			1		1
破壊・切断器具	可搬ワインチ	10	4		1					3			2		
	油圧切断機(大型含む)	9	2		1				1	2			2		1
	マット型空気ジャッキー式	3	1							1			1		
	エンジンカッター	13	2		1	1	1		1	2		1	2	1	1
	空気鋸	4	2							1			1		
	空気切断機	4	2										2		
	ガス溶断器	2								1			1		
	チエーンソー	4	2							1			1		
測定器	鉄線鋏(カッター)	33	8	1	3	1	1	2	1	5	3	3	2	1	2
	万能斧	43	10	1	3	2	2	4	3	4	2	3	6	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2	1										1		
	削岩機	5	3							1			1		
	ハンマドリル	6	2							1			3		
	放射線測定器	10	3							1	1	1	3	1	
	可燃性ガス測定器	23	4	1	2	1	1	1	1	3	2	2	3	1	1
	有毒ガス測定器	3	1							1			1		
	ポケット線量計	32	11							3	5	3	5	5	

平成28年4月1日現在

	区分	合計	配置場所												
			本署	西成	千秋	浅井	分署	大和	丹陽	尾西	萩原	今伊勢・奥川	木曽川	北方	葉栗
NBC対策	防毒マスク	37	15		3			3			3	3	7		3
	化学防護服	15	10										5		
	陽圧式化学防護服	5	5												
	放射線保護服	6	3										3		
	除染シャワー	1	1												
大規模災害	エアーテント	4	2							1			1		
	画像探索機	2	1										1		
	熱画像直視装置	2	1							1					
水難器具	潜水器具一式	10											10		
	救命胴衣	293	40	12	16	16	25	16	16	41	20	16	39	12	24
	水中投光器	10											10		
	救命浮環	39	7	1	3	1	2	3	2	5	3	3	6	1	2
	浮標	3											3		
	救命ボート	33	5	2	2	2	2	2	3	3	2	2	3	2	3
	船外機	8	2							2			3		1
呼吸保護器具	空気呼吸器	113	22	4	8	4	13	4	4	17	8	8	13	4	4
	酸素呼吸器	10	5										5		
	簡易呼吸器	5	2										3		
隊員保護器具	防塵マスク	115	20	5	10	5	5	5	5	15	10	10	15	5	5
	防塵メガネ	73	13	4	3	4	5	4	6	3	10	9	5	4	3
	耐電手袋	20	7		1				1	4			6		1
	耐電衣	4	2										2		
	耐電ズボン	4	2										2		
	耐電長靴	10	4							3			3		
	携帯警報器	88	16	4	8	4	4	4	4	11	8	8	9	4	4
その他	耐熱服	10						5		2			3		
	投光器一式	26	5	1	1	1	4	1	1	3	2	2	3	1	1
	携帯投光器	111	26	3	7	4	6	10	4	18	4	8	14	2	5
	強力携帯型HIDサーチライト	24	5	1	2	1	1	1	1	4	2	2	2	1	1
	携帯無線機	65	15	2	4	2	2	4	3	13	4	4	7	2	3
	特定小電力トランシーバー	170	45	4	11	4	7	10	7	28	11	11	21	4	7
	応急処置用セット	30	5	1	2	1	1	3	2	4	2	2	4	1	2
加圧排煙機		2	1										1		

月別庁外業務活動状況

平成27年中

業務種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計		29,960	2,588	2,471	2,354	2,575	2,595	2,218	2,451	2,641	2,251	2,518	2,578	2,720
災害出動	火災出動	83	7	6	8	7	12	6	2	8	4	11	4	8
	救急出動	16,167	1,483	1,320	1,301	1,263	1,300	1,185	1,432	1,476	1,255	1,340	1,314	1,498
	救急支援	2,630	256	245	216	189	200	153	206	250	200	219	225	271
	救助出動	190	17	17	8	15	19	19	7	18	14	19	11	26
	警戒出動	109	11	5	8	8	13	7	12	9	8	8	9	11
	捜索活動	1						1						
	応援出動	4			1		1	1		1				
	誤報等出動	20	3	4		3	2	1		1	2	1	2	1
焼損事故		23		2	5	2	2	2	1	2	1	1	5	
火災調査		83	7	6	8	7	12	6	2	8	4	11	4	8
演習・訓練	署所訓練	6,337	416	379	413	739	645	477	547	622	529	571	535	464
	全署訓練	65	7	5	4	8	5	2	6	8	8	5	6	1
	合同訓練	11					6				1	1	2	1
広報・指導	消防器取扱訓練	91	2	6	3	2	4	10	8	5	9	16	22	4
	予防広報	185		11	88							1	85	
	その他	13	1	4	1	1		1			2	1	2	
特別警戒	警戒巡回	224	6	17	15	17	51	26	13	5	7	20	46	1
	行催事警戒	48			29	16	2			1				
警防調査	消防水利調査	514	52	59	38	41	72	35	38	25	22	41	41	50
	防火井戸性能試験	185			65	116	4							
	空地等調査	293	88	26	26	1			1		1	56	62	32
	広聴調査	365	26	11	14	19	23	31	23	35	40	51	53	39
	対象物調査	29	1	3	3	1	3	5	1	1	5	2	2	2
	その他	36		3	1	3	2	4		12	4	1	1	5
予防查察		834	145	272	51	2	1	12	12	12	23	23	76	205
その他	街頭消火器点検	470	21	34	12	21	63	49	56	69	46	45	23	31
	消防防災施設点検	284	21	14	18	27	27	13	32	30	30	26	12	34
	救命講習・急救法指導	393	8	12	16	19	64	90	44	33	24	35	29	19
	消防団訓練指導	229	5	7	2	47	57	71	5	5	7	10	6	7
	その他	44	5	3		1	5	11	3	5	5	3	1	2

消防水利の現況

平成28年4月1日現在

区分	合計	公設					私設					その他			
		小計	消火栓	防火井戸	防火水槽		小計	消火栓	防火井戸	防火水槽		小計	ブル	貯水池	その他
					40 ㍑ 未満	100 m³ 以上				40 ㍑ 未満	100 m³ 以上				
合計	5,115	4,983	4,005	603	354	21	47		4	31	12	85	80	2	3
	3,662	3,619	3,015	229	354	21	43			31	12				
宮 西	152	147	133	5	6	3	1			1		4	4		
	122	121	112		6	3	1			1					
貴 船	132	130	127	1	1	1	1			1		1	1		
	117	116	113	1	1	1	1			1					
神 山	193	188	168	11	7	2	2			2		3	3		
	172	170	155	6	7	2	2			2					
大 志	97	96	88	1	4	3						1	1		
	94	94	87		4	3									
向 山	103	100	90	7	3							3	3		
	79	79	72	4	3										
富 士	153	150	139	6	4	1	1			1		2	2		
	136	135	128	2	4	1	1			1					
葉 栗	282	274	219	36	19		3			1	2	5	5		
	226	223	176	28	19		3			1	2				
西 成	490	479	376	54	48	1	1			1		10	10		
	388	387	302	36	48	1	1			1					
丹 陽 町	377	371	336	26	9		1			1		5	4	1	
	262	261	241	11	9		1			1					
浅 井 町	267	262	197	37	27	1	1			1		4	4		
	214	213	160	25	27	1	1			1					
北 方 町	149	147	110	8	29							2	2		
	119	119	90		29										
大 和 町	456	441	351	51	37	2	8		1	6	1	7	7		
	328	321	259	23	37	2	7			6	1				
今 伊 勢 町	191	180	148	20	12		7			4	3	4	3	1	
	135	128	105	11	12		7			4	3				
奥 町	139	131	107	7	16	1	3			3		5	2		3
	65	62	45		16	1	3			3					
萩 原 町	339	333	262	55	15	1	2		1		1	4	4		
	237	236	201	19	15	1	1				1				
千 秋 町	303	294	238	31	25		2		2			7	7		
	230	230	189	16	25										
起	58	56	40	13	2	1	1				1	1	1		
	33	32	29		2	1	1				1				
小信中島	130	128	91	34	2	1						2	2		
	64	64	54	7	2	1									
三 条	183	179	127	45	4	3	2				2	2	2		
	99	97	87	3	4	3	2				2				
大 徳	127	124	95	26	3		1				1	2	2		
	48	47	42	2	3		1				1				
朝 日	324	320	231	84	5							4	4		
	117	117	94	18	5										
開 明	118	114	93	19	2		1			1		3	3		
	79	78	68	8	2		1			1					
木曾川町	352	339	239	26	74		9			8	1	4	4		
	298	289	206	9	74		9			8	1				

(備考)下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用により的確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

平成28年4月1日現在

応 援 協 定 等	
1	大規模災害消防応援実施計画
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県防災ヘリコプター支援協定
10	愛知県防災ヘリコプター緊急運航要領
11	ドクターヘリ運航要領
12	尾張西北部地区消防相互応援協定
13	木曽川流域消防相互応援協定
14	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
15	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
16	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
17	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
18	災害活動の協力に関する協定
19	都市ガス災害対策に関する業務協約
20	LPガス災害対策に関する業務協約

緊急消防援助隊の概要

・緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等を、より効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部に協力を得て平成7年6月に創設されたものであり、一宮市消防本部は、消火部隊4隊、救助部隊1隊、救急部隊2隊、後方支援部隊1隊が登録されています。

緊急消防援助隊の派遣について

【平成16年 福井豪雨】

・平成16年7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、平成16年7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県隊として福井県に派遣隊数1隊(5名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18～7/19	消火部隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

【平成23年 東日本大震災】

・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、平成23年3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県隊として宮城県に派遣隊数29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12～3/15	消火部隊 救助部隊 後方支援部隊	12名	宮城県亘理郡亘理町及び山元町で捜索
第3次隊	3/13～3/16	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町及び山元町で捜索
第5次隊	3/17～3/22	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町及び山元町で捜索
第6次隊	3/20～3/25	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第7次隊	3/23～3/28	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第8次隊	3/26～3/30	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第9次隊	3/29～4/3	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第10次隊	4/1～4/6	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第11次隊	4/4～4/9	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第12次隊	4/7～4/12	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第13次隊	4/10～4/15	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第14次隊	4/13～4/18	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第15次隊	4/16～4/21	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第16次隊	4/19～4/24	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

【平成26年 御嶽山噴火災害】

・平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、平成26年10月4日から17日までの間に、緊急消防援助隊愛知県隊として長野県王滝村に派遣隊数3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4～10/7	救助部隊	5名	活動拠点にて捜索についての情報収集 御岳剣ヶ峰山荘売店付近の捜索
第20次隊	10/11～10/12	救助部隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の捜索
第24次隊	10/16～10/17	救助部隊	5名	派遣期間中に捜索中止が決定

※ 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

〈御嶽山噴火災害に伴う救助活動写真〉



おんたけ2240スキー場に集結した愛知県隊



活動拠点「ロッヂ三笠」



ヘリコプターによる移動



登山による移動



頂上山荘周辺の捜索



頂上山荘周辺の捜索



噴煙が上がる中、捜索する隊員

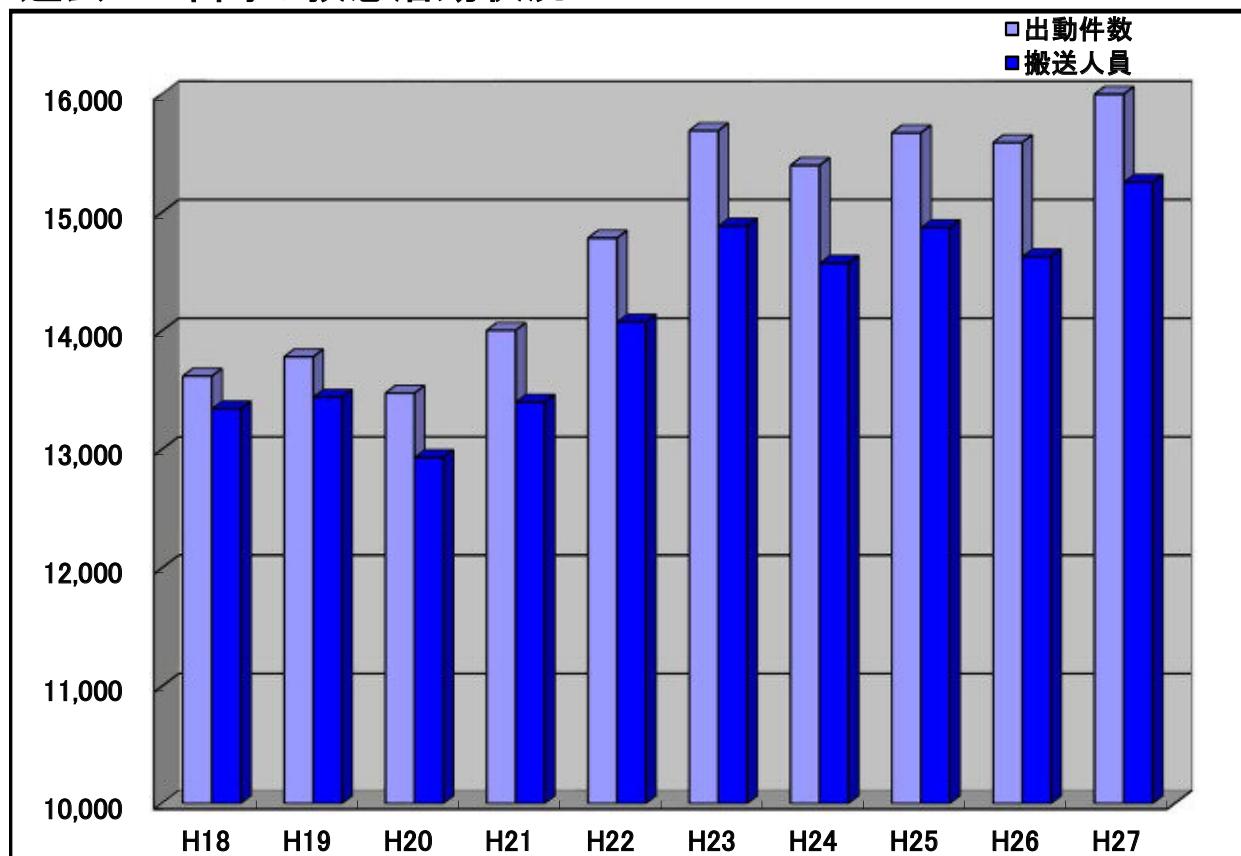


頂上の斜面で、捜索する隊員

救急

救助

過去10年間の救急活動状況



区分	合計	(上段) 出動件数						(下段) 搬送人員					
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
H18	13,622	31		5	1,957	151	108	1,542	107	170	8,564	987	
	13,346	35		1	2,279	150	117	1,496	101	143	8,222	802	
H19	13,784	31		5	1,948	138	86	1,613	88	160	8,733	982	
	13,444	17		1	2,278	138	89	1,567	76	118	8,379	781	
H20	13,478	100	6	5	1,792	146	96	1,529	85	159	8,427	1,133	
	12,935	12	1	1	2,012	146	104	1,490	79	119	8,071	900	
H21	14,007	101		4	1,707	129	80	1,622	86	181	8,912	1,185	
	13,403	24		1	1,891	128	83	1,589	80	149	8,547	911	
H22	14,786	88		12	1,894	146	104	1,751	72	171	9,430	1,118	
	14,078	14		1	2,011	146	106	1,698	62	132	9,061	847	
H23	15,692	94	2	5	1,846	168	123	1,829	73	169	10,252	1,131	
	14,887	15			1,955	167	128	1,773	67	126	9,781	875	
H24	15,400	67		11	1,763	156	140	1,807	76	125	10,189	1,066	
	14,574	17		2	1,846	155	140	1,740	64	92	9,713	805	
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995	
	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782	
H26	15,592	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	1,089	
	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810	
H27	16,167	50	1	8	1,615	184	131	2,080	66	139	10,669	1,224	
	15,257	6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951	

曜日・月別救急出動件数

平成27年中

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	
曜日別	月	13		1	213	47	10	331	6	23	1,645	188		17	25	2,519
	火	6		1	237	32	12	262	7	18	1,490	148	1	11	20	2,245
	水	10		1	228	25	8	290	8	13	1,450	129		14	28	2,204
	木	12			241	21	11	282	8	24	1,488	137		19	31	2,274
	金	3	1	3	257	32	6	247	7	20	1,450	172		15	24	2,237
	土	5			234	22	35	339	11	24	1,507	114		11	21	2,323
	日	1		2	205	5	49	329	19	17	1,639	54		10	35	2,365
合計		50	1	8	1,615	184	131	2,080	66	139	10,669	942	1	97	184	16,167
月別	1月	3			131	10	3	164	8	12	1,059	73		9	11	1,483
	2月	4			123	12	5	155	3	6	918	72		8	14	1,320
	3月	2		1	137	14	10	171	3	15	850	78		9	11	1,301
	4月	6			162	13	11	163	2	11	796	77	1	7	14	1,263
	5月	9		1	145	10	16	177	14	11	835	58		4	20	1,300
	6月	1		2	119	12	10	147	3	12	770	87		8	14	1,185
	7月	1	1	1	127	25	15	187	6	18	940	80		6	25	1,432
	8月	6			146	28	8	163	6	9	1,003	82		9	16	1,476
	9月	3		1	110	15	22	164	3	8	813	86		10	20	1,255
	10月	4			139	19	16	202	5	12	841	78		10	14	1,340
	11月	6		1	132	8	9	191	7	12	848	80		5	15	1,314
	12月	5		1	144	18	6	196	6	13	996	91		12	10	1,498

曜日・月別救急搬送人員

平成27年中

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日別	月	2			240	47	10	317	6	17	1,564	189	2,392
	火	1		1	235	31	12	252	7	13	1,404	149	2,105
	水	1			237	24	8	276	8	10	1,385	133	2,082
	木				245	19	11	272	6	20	1,414	139	2,126
	金		1		264	32	6	236	5	14	1,369	173	2,100
	土	1			271	22	36	328	9	20	1,418	114	2,219
	日	1		1	224	5	48	314	16	15	1,555	54	2,233
合計		6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951	15,257
月別	1月				152	10	3	155	6	8	993	72	1,399
	2月				138	12	5	146	1	5	868	71	1,246
	3月				139	14	10	168	2	11	809	78	1,231
	4月	1			174	13	11	158	2	10	767	80	1,216
	5月	2		1	154	9	16	166	14	7	802	59	1,230
	6月			1	122	11	10	136	3	10	728	87	1,108
	7月		1		128	25	15	180	4	16	879	82	1,330
	8月	1			167	28	8	158	6	8	950	81	1,407
	9月				125	15	22	160	2	5	773	90	1,192
	10月	1			139	18	16	195	4	7	798	78	1,256
	11月	1			141	8	9	181	7	10	799	82	1,238
	12月				137	17	6	192	6	12	943	91	1,404

地区別救急出動件数

平成27年中

地区 事故種別	合計	宮 西	貴 船	神 山	大 志	向 山	富 士	葉 栗	西 成	丹 陽	浅 井	北 方	大 和	今 伊 勢	奥 町	萩 原	千 秋	尾 西	木 曾 川	管 外	
合計	16,167	701	551	810	364	368	600	651	1,392	1,117	789	304	1,789	978	559	774	748	2,260	1,334	78	
火災	50			2	1	1	1	2	8	2	4	1	6	1	1	2	3	11	4		
自然災害	1			1																	
水難	8										1	1						3	2	1	
交通事故	1,615	75	59	66	32	40	79	54	143	137	48	26	211	64	40	75	86	239	138	3	
労働災害	184	3	9	5	1	3	6	5	22	25	4	3	18	4	4	14	9	30	19		
運動競技	131	4	7	3		3	3	20	6	6	8	1	9	9	3	4	14	20	11		
一般負傷	2,080	68	62	128	52	48	74	82	172	154	103	57	223	132	85	91	95	273	181		
加害	66	2		3	2	1	2	2	12	6	4		4	4	3	3	2	8	8		
自損行為	139	5	6	4	4	2	4	7	20	18	1	5	6	11	3	9	4	26	4		
急病	10,669	347	365	567	244	237	391	463	908	746	572	207	1,220	692	377	546	418	1,479	883	7	
その他	転院搬送	942	92	41	10	20	31	18	9	90	9	33	1	66	55	41	27	109	157	66	67
	医師搬送	1				1															
	資機材等輸送	97	97																		
	その他	184	8	2	21	7	2	22	7	11	14	11	2	26	6	2	3	8	14	18	

地区別救急搬送人員

平成27年中

地区 事故種別	合計	宮 西	貴 船	神 山	大 志	向 山	富 士	葉 栗	西 成	丹 陽	浅 井	北 方	大 和	今 伊 勢	奥 町	萩 原	千 秋	尾 西	木 曾 川	管 外
合計	15,257	576	537	747	336	351	564	604	1,327	1,097	722	298	1,684	929	529	741	738	2,156	1,247	74
火災	6				1					1				1	1			2		
自然災害	1			1																
水難	2																	1	1	
交通事故	1,716	77	64	64	35	36	83	59	156	162	45	31	230	68	42	82	97	237	146	2
労働災害	180	3	9	5	1	3	6	5	21	24	4	3	18	3	4	14	9	30	18	
運動競技	131	4	7	3		3	3	21	6	6	7	1	9	9	3	4	14	20	11	
一般負傷	1,995	66	60	119	49	45	67	74	166	151	100	57	219	123	82	87	97	264	169	
加害	57	2		2	2	1	2	2	11	5	4		3	4	2	2	1	8	6	
自損行為	109	3	4	4	4	1	4	2	17	14	1	4	5	7	3	6	3	24	3	
急病	10,109	330	352	535	224	231	381	432	857	724	528	201	1,133	659	352	519	406	1,412	828	5
その他	951	91	41	14	20	31	18	9	92	11	33	1	66	55	41	27	111	158	65	67

現場到着所要時間別救急出動件数

平成27年中

現場到着所要時間 事故種別	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	合計	現場到着最短所要時間(分)	現場到着最長所要時間(分)	現場到着平均所要時間(分)
合計	285	2,599	12,008	1,266	9	16,167	0	34	6.9
急病	108	1,614	8,110	836	1	10,669	0	23	7.0
交通事故	23	214	1,202	169	7	1,615	0	34	7.2
一般負傷	27	341	1,572	140		2,080	0	18	6.8
その他	127	430	1,124	121	1	1,803	0	28	6.1

収容所要時間別救急搬送人員

平成27年中

収容所要時間 事故種別	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	合計	収容最短所要時間(分)	収容最長所要時間(分)	収容平均所要時間(分)
合計	5	1,810	34	8,569	431	4,760	722	110	44	3
急病	5	1,188	18	5,757	276	3,098	396	61	28	
交通事故		167	3	875	43	653	89	20	1	1
一般負傷		231	9	1,139	74	611	91	12	4	2
その他		224	4	798	38	398	146	17	11	
										1,437
										10
										104
										27.1

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

平成27年中

事故種別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
合 計	合 計	15,257	6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951	
	死 亡	303	1		1	4	2		24		20	250	1	
	重 症	1,150				55	11	1	54	1	16	787	225	
	中等症	6,041	3			335	63	40	694	7	37	4,239	623	
	軽 症	7,763	2	1	1	1,322	104	90	1,223	49	36	4,833	102	
	その他の													
新 生 児	小 計	120							1			6	113	
	死 亡													
	重 症	11											11	
	中等症	97										2	95	
	軽 症	12							1			4	7	
	その他の													
乳 幼 児	小 計	723				62		1	163	2		459	36	
	死 亡	4										3	1	
	重 症	15							1			4	10	
	中等症	196				9		1	26			141	19	
	軽 症	508				53			136	2		311	6	
	その他の													
少 年	小 計	655				227		1	82	80	6	3	240	16
	死 亡													
	重 症	11				4				1			2	4
	中等症	157				43		21	20				63	10
	軽 症	487				180		1	61	59	6	3	175	2
	その他の													
成 人	小 計	4,956	3		1	1,005	144	43	367	41	86	3,051	215	
	死 亡	44				1				3		8	32	
	重 症	254				30	8	1	8			14	151	42
	中等症	1,556	2			176	47	17	109	4	33	1,031	137	
	軽 症	3,102	1		1	798	89	25	247	37	31	1,837	36	
	その他の													
高 齢 者	小 計	8,803	3	1	1	422	35	5	1,384	8	20	6,353	571	
	死 亡	255	1		1	3	2			21		12	215	
	重 症	859				21	3			44	1	2	630	158
	中等症	4,035	1			107	16	1	539	3	4	3,002	362	
	軽 症	3,654	1	1		291	14	4	780	4	2	2,506	51	
	その他の													

新生児 : 生後28日未満の者
 幼児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高齢者 : 満65歳以上の者

救急高度化の推移

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
一宮市人口	386,132	386,390	386,447	386,429	386,410
救急出動件数	15,692	15,400	15,674	15,592	16,167
人口1万人当たりの出動件数	406	399	406	403	418
高規格救急車運用台数	10	10	11	11	11
救急救命士数	76	80	82	82	84
気管挿管救命士数	11	12	13	14	15
薬剤投与救命士数	45	52	57	59	64
救急搬送人員(A)	14,887	14,574	14,874	14,629	15,257
心肺停止傷病者搬送人員(B) 〔救急隊により心肺機能停止の時点が目撃された心肺停止傷病者搬送人員〕(C)	388 (19)	368 (29)	367 (33)	392 (25)	376 (28)
バイスタンダーカPR件数(D)	247	238	233	264	234
心肺停止傷病者搬送率%(B/A)	2.6	2.5	2.5	2.7	2.5
バイスタンダーカPR実施率%(D/B) 〔救急隊により心肺機能停止の時点が目撃された心肺停止傷病者を除くバイスタンダーカPR実施率%〕(D/(B-C))	63.7 (66.9)	64.7 (70.2)	63.5 (69.8)	67.3 (71.9)	62.2 (67.2)

一宮市人口：各年の4月1日現在

気管挿管救命士：医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬剤投与救命士：医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バイスタンダーカPR：居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

区分	応急処置		止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保					
	対象人數	件数合計						計	※1	※2	※3	※4	
合計	合計	15,203	71,376	259	2,812	124	373	3,076	702	32	41	131	5
	死亡	303	1,661		25	16	297	300	299	10	31	106	3
	重症	1,145	6,216	9	114	77	72	729	231	17	7	24	2
	中等症	6,016	28,671	64	888	30	3	1,599	141	5	2	1	
	軽症	7,739	34,828	186	1,785	1	1	448	31		1		
	その他												
急病	小計	10,094	47,294	61	342	111	308	2,335	583	23	23	117	
	死亡	250	1,372		3	15	244	248	246	7	20	94	
	重症	784	4,393		21	69	62	524	190	14	3	23	
	中等症	4,233	20,406	7	129	26	1	1,244	118	2			
	軽症	4,827	21,123	54	189	1	1	319	29				
	その他												
交通事故	小計	1,705	8,523	38	1,253	1	5	168	16				
	死亡	4	23		4		4	4	4				
	重症	55	393	6	54	1	1	46	10				
	中等症	332	1,815	15	275			54	2				
	軽症	1,314	6,292	17	920			64					
	その他												
一般負傷	小計	1,984	9,481	125	993	6	32	144	46	4	18	8	5
	死亡	24	126		1	1	24	23	24	2	11	7	3
	重症	54	298	2	25	2	6	21	13		4		2
	中等症	692	3,362	34	408	3	2	65	7	2	2	1	
	軽症	1,214	5,695	89	559			35	2		1		
	その他												
その他	小計	1,420	6,078	35	224	6	28	429	57	5		6	
	死亡	25	140		17		25	25	25	1		5	
	重症	252	1,132	1	14	5	3	138	18	3		1	
	中等症	759	3,088	8	76	1		236	14	1			
	軽症	384	1,718	26	117			30					
	その他												

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
ラリンゲアルマスク等を使用しての気道確保

※4 気管挿管による気道確保

平成27年中

区分		保温	被覆	在宅療法	除細動	静脈路確保	その他の	血圧測定	心音・呼吸音	血中酸素飽和度	心電図	薬剤投与
合計	合計	144	998	146	45	118	14,462	14,497	5,922	14,811	12,848	39
	死亡		4	4	19	47	245	33	23	36	285	28
	重症	23	37	18	25	33	1,054	1,075	540	1,092	1,076	11
	中等症	65	242	89		22	5,753	5,855	2,557	5,990	5,373	
	軽症	56	715	35	1	16	7,410	7,534	2,802	7,693	6,114	
	その他											
急病	小計	88	41	132	42	103	9,871	9,680	4,462	9,808	9,291	36
	死亡		2	4	17	41	203	31	21	34	237	26
	重症	17	4	17	24	27	749	741	424	743	771	10
	中等症	44	13	83		20	4,178	4,193	2,085	4,225	4,040	
	軽症	27	22	28	1	15	4,741	4,715	1,932	4,806	4,243	
	その他											
交通事故	小計	7	278			1	1,529	1,670	782	1,688	1,087	
	死亡						3				4	
	重症	1	20			1	49	54	44	54	52	
	中等症	2	67				308	326	189	328	249	
	軽症	4	191				1,169	1,290	549	1,306	782	
	その他											
一般負傷	小計	20	552	11	2	10	1,869	1,887	406	1,935	1,440	3
	死亡				2	5	17	2	2	2	21	2
	重症	1	7			3	50	50	20	50	47	1
	中等症	3	129	5		2	658	681	139	686	540	
	軽症	16	416	6			1,144	1,154	245	1,197	832	
	その他											
その他	小計	29	127	3	1	4	1,193	1,260	272	1,380	1,030	
	死亡		2			1	22				23	
	重症	4	6	1	1	2	206	230	52	245	206	
	中等症	16	33	1			609	655	144	751	544	
	軽症	9	86	1		1	356	375	76	384	257	
	その他											

高速道路の救急活動状況

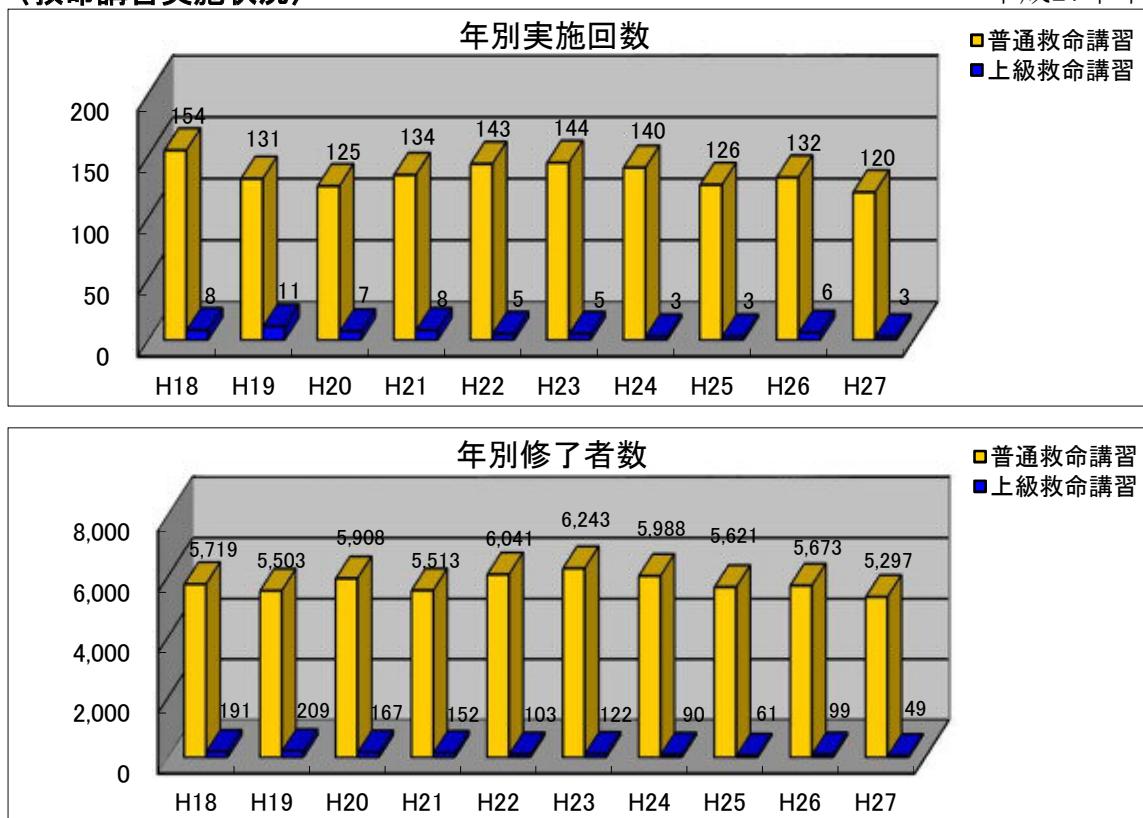
平成27年中

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
出動件数	合計	82	4	3	11	3	6	8	3	15	11	5	6	7	
	一般負傷	1	1												
	急 病	11	1		2	1	2			1		1	3		
	交通事故	69	2	3	9	2	4	8	3	13	11	5	4		
	労働災害	1								1					
	市 内	74	4	3	10	3	5	8	3	12	11	5	5		
	市 外	2								1			1		
	県 外	6			1		1			2		1	1		
	不 搬 送	11	1	1	2			2		1	1	1	2		
	合計	106	3	2	17	3	9	9	4	19	18	4	12	6	
搬送人員	急 病	8	1		2	1	2						1	1	
	交通事故	97	2	2	15	2	7	9	4	18	18	4	11	5	
	労働災害	1								1					
	性別	男	74	3	1	11	3	8	4	3	17	9	4	6	5
		女	32		1	6		1	5	1	2	9		6	1
	傷病程度別	死 亡													
		重 症	5		1			1			1		2		
		中 等 症	18	1	1	2	1	4	1		4		1	1	2
		軽 症	83	2		15	2	4	8	4	14	18	1	11	4
		そ の 他													

応急救手等の普及活動状況

〈救命講習実施状況〉

平成27年中



〈一般救急講習実施状況〉

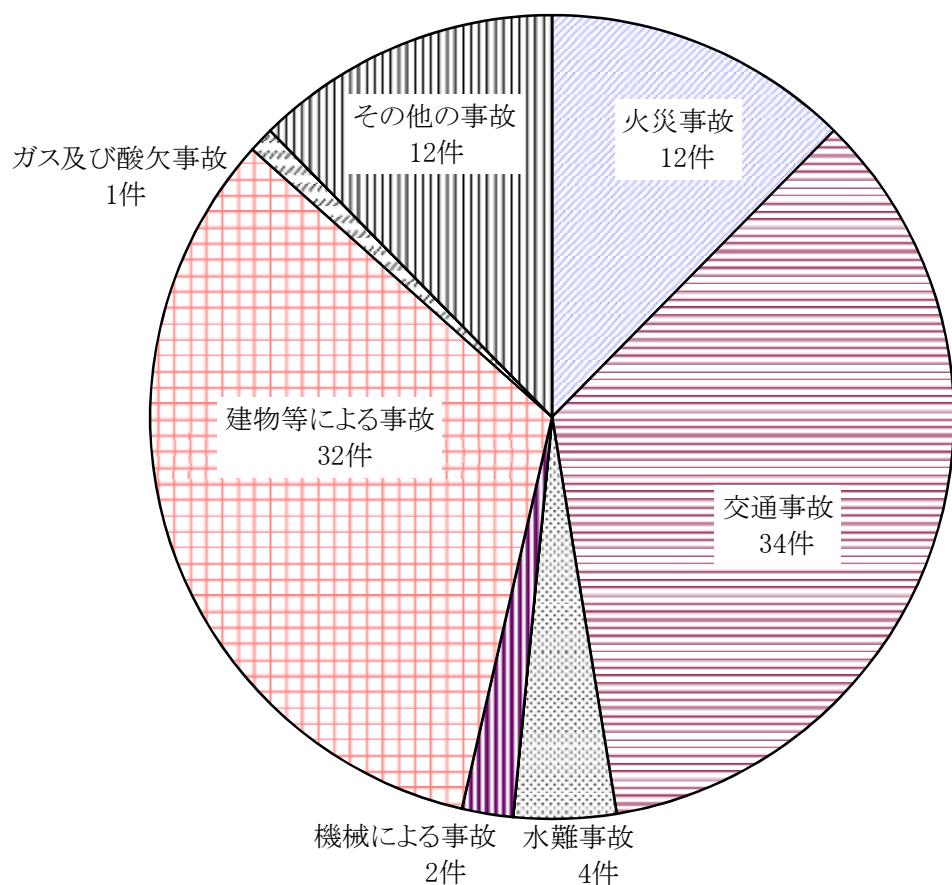
区分	合計	学校	保育園	幼稚園	防災会	各種団体	事業所	その他
平成18年	実施回数	182	77	1	21	45	38	
	参加人員	8,573	4,306	20	1,000	2,114	1,133	
平成19年	実施回数	155	71	5	20	29	25	5
	参加人員	6,188	3,275	108	782	1,229	663	131
平成20年	実施回数	186	75	4	6	53	33	15
	参加人員	7,729	3,244	46	1,428	1,953	725	333
平成21年	実施回数	225	62	6	14	92	37	14
	参加人員	8,095	2,611	112	544	3,641	940	247
平成22年	実施回数	220	78	5	20	70	37	10
	参加人員	9,987	3,762	86	2,606	2,318	1,000	215
平成23年	実施回数	210	80	13	27	54	34	2
	参加人員	8,609	3,191	283	1,705	1,542	878	1,010
平成24年	実施回数	232	89	12	31	55	44	1
	参加人員	10,156	3,999	234	3,052	1,898	930	43
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103
平成26年	実施回数	270	95	9	42	65	57	2
	参加人員	12,483	4,584	176	4,183	2,265	1,249	26
平成27年	実施回数	267	97	12	60	49	40	9
	参加人員	11,699	4,207	318	3,664	2,172	1,032	306

救助活動状況

平成27年中

区分	出動件数	出 動		活動件数	活動人員	救助人員
		台 数	人 員			
合 計	190	1,216	4,908	97	997	86
火 災 事 故	45	591	2,657	12	72	
交 通 事 故	53	232	835	34	348	40
水 難 事 故	5	30	103	4	68	1
自然災害・風水害						
機 械 に よ る 事 故	4	16	60	2	30	2
建 物 等 に よ る 事 故	45	181	649	32	327	30
ガス及び酸欠事故	1	4	16	1	7	
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故	37	162	588	12	145	13

活動件数の内訳



月別救助出動状況

平成27年中

区分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出動件数	190	17	17	8	15	19	19	7	18	14	19	11	26
	出動人員	4,908	387	485	181	412	722	331	140	469	405	438	321	617
火災事故	出動件数	45	3	4	2	4	9	1	1	5	3	4	3	6
	出動人員	2,657	166	284	85	241	569	55	53	267	219	205	185	328
交通事故	出動件数	53	8	4	1	3	2	7	1	4	4	7	3	9
	出動人員	835	126	70	14	47	29	106	15	67	62	113	53	133
水難事故	出動件数	5	1		1			1					1	1
	出動人員	103	21		21			21					20	20
自然災害・風水害	出動件数													
	出動人員													
機械による事故	出動件数	4		1		1					2			
	出動人員	60		15		15					30			
建物等による事故	出動件数	45	2	6	4	3	3	5		6	1	6	2	7
	出動人員	649	30	88	61	44	43	68		90	15	90	28	92
ガス及び酸欠事故	出動件数	1	1											
	出動人員	16	16											
破裂事故	出動件数													
	出動人員													
その他の事故	出動件数	37	2	2		4	5	5	5	3	4	2	2	3
	出動人員	588	28	28		65	81	81	72	45	79	30	35	44

過去5年間の救助活動状況

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出動件数	214	163	193	196	190
活動件数	99	67	88	93	97
活動人員	1,063	732	967	950	997
救助人員	90	67	86	77	86

救助訓練等実施状況

陸上

平成27年度中

月	日	訓練名	場所
5月	23・24・26・27日	解体予定建物を利用した警察と消防救助隊との合同訓練	一宮市役所尾西庁舎 北館
9月	12・13日	機械式立体駐車場を使用した救助研修	一宮市役所本庁舎及び機械式立体駐車場
10月	31日	車両構造講習会及び訓練会	東海旅客鉄道株式会社 名古屋工場
11月	28・29日	木曽川庁舎を使用した低所救助訓練	一宮市役所木曽川庁舎
12月	3日	NBC災害対応訓練	JR尾張一宮駅及び尾張一宮駅前ビル
	18日	第18回全国消防救助シンポジウム	東京都 日比谷公会堂
2月	22日	車両構造講習会(新幹線)	東海旅客鉄道株式会社 名古屋車両所

水難

月	日	訓練名	場所
4月	13・20日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	23・24・27・28日	潜水ランク認定訓練	航空自衛隊小牧基地
	28・29日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
5月	1日	尾張西北部消防合同水難救助訓練に伴う事前訓練	木曽川左岸(富田字砂原地内)
	11・18日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	21日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	木曽川左岸(富田字砂原地内)
	28日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練	木曽川右岸(羽島郡笠松町地内)
7月	6日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	8・13・14日	河川調査及び水中探知機の取扱い訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
	13・21日	救命索発射銃取扱い訓練	木曽川河川敷(北方町北方地内)
8月	3・4日	各種検索訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
	3・7・19日	救命索発射銃取扱い訓練	木曽川河川敷(北方町北方地内)
	23・28日	水面救助訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
	24日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(富田字砂原地内)
	24日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
9月	1・2日	警防隊の水面救助訓練及びCランク潜水隊員の潜水訓練	尾西プール
	7・28日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	29日	三市消防本部合同水難救助訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
10月	26日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
11月	9・16日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
12月	14日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
1月	18・19・21日	ドライスーツ潜水訓練及びCランク潜水隊員潜水訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	25日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
2月	8日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
3月	7日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	14・15日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)

消 防 五 則

一、自分の安全はまず自分から確保します

一、平素から業務に耐える気力、体力を鍛成します

一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります

一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します

一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成二年一月一日

制 定 主 旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2016 年版 消防年報（第 66 号）

平成 28 年 7 月発行

編集・発行

一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑 1 丁目 1 番 10 号

TEL 0586-72-0119

FAX 0586-71-1191



一宮市消防本部
《昭和 23 年創設》



一宮市マスコットキャラクター
「いちみん」消防 Ver.